

01

PATH - F I N D E R S

チタリツク ガーディアン

TRPGリプレイ小説

お試し版



第1話：スリーピングヘッズ

INDEX

- P2...今回の参加者
- P4...シーン0『さあ始めるよ』
- p8...キャラクター紹介
- P18...オープニングフェイズ
- P49...ミドルフェイズ
- P115...イベントフェイズ
- P136...クライマックスフェイズ
- P181...エンディングフェイズ
- P192...あとがき

——寒さも増してきた某年 11月の関東某所。
そこにいつものひまつぶし卓メンバーが集結していた。

今回の参加者

■久海夏輝

ひまつぶし卓の面々をTRPG沼に引きずり込んだ元凶。今回のセッションでもGMを務める。好きなロボットアニメはリアル系全般だが一番好きなのは『天元突破グレンラガン』。でも自分で乗るならジェガン。



■楠木

ルーニー気味なロールと斜め右上から攻めてくる謎のセンスとやたら丁寧なキーパリングに定評があるオッサン好き。好きなロボットアニメは『MSイグルー』。特にヒルドルプがお気に入りとのこと。





■ヤブ蚊

リアルラックと本能と直感のプレイングでGMを翻弄する天然系プレイヤー。今回のリプレイではメインのイラスト担当をして頂きました。好きなロボットアニメは『ゾイド』。ロボにまで獣属性を求める真性の獣スキ。

■深淵どっと

今回のリプレイ執筆担当。好きなロボットは『ゲッターロボシリーズ』、好きな神隼人は原作版ゲッターロボGで敵の罠にかかりながらも冷静に一般人を犠牲にしつつ脱出を目論む隼人。

■リっか

ひまつぶし卓技術担当、セッション時に使用している音響ツールを自作したり色々とお世話になっている。ルールはツツココみ多めの時々ボケ。好きなロボットアニメは『機動戦艦ナデシコ』。



■名残雪

リアルロールプレイヤーを地で行くが時折突拍子もない行動でGMはおろか卓全体を混沌にたたく落とすこともある。好きなロボットアニメは『絶対無敵ライジンオー』。

▼シーン0 『さあ始めるよ』

久海…てことでラチオも終わったし、始めますか。

楠木…今日は『メタリックガーディアン』ですよ。

名残雪…前回集まった時にみんなで作ったキャラクターシートを使ってやるんだよね？

久海…そうそう。…F. E. A. R 製TRPGはほんとキャラシ作るだけで丸一日持っていられるしな。

ヤブ蚊…あたし、どんなん作ったっけ。

久海…では前回作ったキャラシをみんなに回す前に、今回の舞台の説明とセッショントレーラーを入れさせてもらいたいと思います。

ラチオ

「ごくつウラチオ」のこと。第七回放送直後にセクションを開始しました。

F. E. A. R

正式名称『有限会社ファアーズ・アミューズメント・リサーチ』。『ダブルクロス』や『リアンロッド』などといったTRPGシステムを提供している会社。

TRPGガチ勢が立ち上げてしまった会社というイメージがある。

ヤブ蚊..セッシュントレーラー?

久海..ええとですね、メタガではセッシュン開始前にそのセッシュンの予告となるセッシュントレーラーをGMが説明するということになっております。

深淵どっと..ああ、ダブクロでもあるわそれ.....

久海..それでは今回のセッシュントレーラー.....

——かつて、戦争があった

その地球とコロニー国家を巻き込んだ大戦の末期、地球に落下するコロニーを迎撃した一つの部隊があった。

地球連邦軍第507技術試験大隊、通称『パスファインダーズ』。

彼らの活躍により、コロニーの落下は阻止された。

.....そして現在。山と海に囲まれた平和を謳歌するイツモの地方都市「上総(かずさ)市」、今ここに争乱の影が忍び寄ろうとしていた.....

民間軍事企業『フォーチュン』に組み込まれたパスファインダーズの新たななる戦いが、今始まる!

メタリックガーディアン パスファインダーズ 第一話『スリーピングヘッズ』

先駆者達よ、紅蓮の腕で明日をつかめ!

ダブクロ

F. E. A. R製TRPG『ダブルクロス』の略。
異能力に目覚めたPC達がそれを悪用する者達や怪物達と戦うことになる厨二病天元突破なTRPG。

一同…わー（拍手）

久海…そして、今回の舞台となる架空の都市である**上総市**についても説明しちゃうしましょう。

——イヅモ特別区の海と山に囲まれた地方都市『上総市』。首都『叢雲市』や大都市『鳳市』から離れた自然豊かな都市で、名産である上総海老の水揚げ量はイヅモ一。

第二次世界大戦時に不時着した大型戦艦『クリムゾンフォート』の周辺を切り開いた用地に、フォーチュン第07技術試験隊の基地が存在している。また、近隣には上総市を含む地域一帯の防衛を務めているイヅモ防衛軍の基地も存在する。

りっか…なんだ上総海老って……。

楠木…07……って言うのはさっきのパスファインダーズ？ とは違うんですか？

上総市

メタリックガードイアンの公式には存在しないと言う意味においても架空の都市である。

久海…ああ、元々地球連邦所屬だったんだけど、戦後そのままガーディアン犯罪やテロに対応する民間軍事企業『フォーチュン』の指揮下に入って、第507技術試験大隊から第07技術試験隊に名称が変更されました。

りっか…なるほどね。

久海…じゃあ次にみんなのキャラクターシートを渡そう。作ってから何だかんだで**結構時間が経っている**ので、よく確認して下さい。それとついでに、搭乘する機体についての説明も用意したんで読んで何となくイメージを固めておいてね。

一同…はい。

結構時間が経っている

メタガに限らず、キャラ作成や世界観の説明で1日用意すると余裕を持ってセッションができる。

▼
キャラクター紹介

■ P C 1 メレク・ミストリー（P L…ヤブ蚊）

・人物について

上総第一高校生徒、2年生、17歳。

ラーフ帝国の攻撃で占領された国の生まれで、その戦火により家族を失っている。難民としてイヅモに流れ着き、現在は上総にある孤児院『あかりの家』で他の親を失った子供達と共に暮らしている。

戦火の最中、自らを救ってくれた謎のガーディアンに密かに憧れを抱いている。

・ U X 1 0 1 フェンリル・α（ユニオン級）

狼のような姿のユニオン級ガーディアンと思われる機体。

二次大戦時中期の混乱時にパスファインダーズに送り込まれるが、開発先であると思われる研究機関がヴォルフ共和国の攻撃により消滅し一切の資料が残っていない上に適合するリンケージもおらず、一度も起動されることなく終戦を迎え、現在も格納庫で埃を被っている。

FENRIR.α

装備

ユニオン級人型形態・ユニオン級機獣形態：フィールドセイバー/
ビームマシンガン/中型ミサイルポッド/小型ミサイルポッド/
リアクトセーバー

加護

イドゥン/ブラギ/オーディン



『……何か、
こいつが助けてくれました!』

NAME メレク=ミストリー

PL ヤブ蚊

LEVEL ユニオン2/コンダクター1

GUARDIAN フェンリル・α (ユニオン)

■ PC2 ヘルマン・ブライトナー（PL…深淵どつと）

・人物について

イヅモ防衛軍少尉、26歳

出身はヴォルフ共和国で、二次大戦時は士官学校を出たての新任少尉であった。ヴォルフの地球降下部隊に所属していたが、故あり脱走。戦後名前を変えイヅモ防衛軍に入隊する。

現在は上総のイヅモ防衛軍第3管区防衛軍に所属しているが、『ヴォルフからの亡命者』という身の上から軍内では浮いた存在となってしまうている。現在は市内にある翔鶴寺に居候している。

・PFX-573-02 ギガント・ノヴァ（スーパー級）

天城ロボット研究所製スーパー級ガーディアンを模倣（という名の技術盗用）して作製された機体。

あくまで技術検証が目的の機体あるため固定武装はなく、拳による近接戦闘がメインとなるがその一撃はスーパー級の名に恥じないものである。

GIGANT・NOVA

装備 スーパー級ガーディアン：ナックル/増加装甲

加護 ガイア/トール/ルドラ



『それが諸君らの答えだと
言うのなら仕方があるまい』

NAME ヘルマン=ブライトナー

PL 深淵どっと

LEVEL スーパー2/ストライカー1

GUARDIAN ギガント・ノヴァ (スーパー)

■ PC3 ユディット・ミュラ（PL…楠木）

・人物について

フォーチュン第07技術試験隊所属リンケージ、階級は中尉、25歳

二次大戦時、若くして目覚ましい戦果をあげていたが『所属する部隊は4度目の出撃で必ず壊滅的被害を受ける』というジンクスにより、敵味方を平等に刈り取る死神『イーヴン・リップパー』として畏怖の対象となっていた。

大戦末期にパスファインダースに転属し、コロニー落下阻止に成功するも壊滅的被害を受け、パートナーであったリンケージとも死別してしまう。

現在は07技術試験隊に留まり月光・改と共に無為な日々を過ごしている。

・GX・77C 月光・改（ディザスター級）

新型砲塔HEA砲の実証実験と、ドライバーとガンナーの複座式操縦の有用性検証を目的に開発された四脚型重ディザスター。

装備する砲は長大な射程と威力を持つが燃費の悪さから正式採用には至らなかったが、二次大戦時には正確無比な砲撃によって多数の敵艦を撃破している。

ガンナーであったリンケージの戦死、HEA砲紛失から現在は単座式へ改造されているが、現状ではその能力をフルに発揮することはできない。

GEKKO・改

装備 ディザスター級：マシンガン/ミサイルアーム/大型レールキャノン/
中型ミサイル/多脚レッグ

加護 オーディン/ヘル/ネルガル

『あれはジャックじゃない……
あれは……』

NAME ユディット=ミュラ

PL 楠木

LEVEL ディザスター1/スーパー2

GUARDIAN 月光・改(ディザスター)

■ P C 4 大森・ヒリュウ（P L …りつか）

・人物について

上総第一高校教師、22歳。

上総第一高校で教鞭をとる教師でありメレク（P C 1）の担任でもある。

イツモの大企業であるラフォーレグループを経営する一族の出だが、父であるソウリュウの強引な経営手法とアビスエネルギーにすら手を出そうとする危険な思想に反発し、現在は半ば絶縁状態である。

幼い妹がおり、彼女とは定期的に連絡を取り合っている。

・ S t X - 2 0 0 / S レヴィアタン・ヤークト（カバリ工級）

戦後に07技術試験隊に持ち込まれた試作機。従来の狙撃機は既存機を狙撃向けに改修することで対応していたが、本機は狙撃専門カバリエとして開発された。

しかし開発企業が計画を凍結してしまい、この機体はそのまま宙に浮いてしまうこととなる。配属されるべきテストパイロットもおらず、格納庫で埃を被っている状態であるがカタログスペック上ではその狙撃性能は『駆逐』の名に相応しく他の追隨を許すものではないことが見て取れる。

LEVIATHAN.YAKUTO

装備 カバリエ級試作型：ハンドガン/メタルダガー/ビームスナイパーライフル/シールドミサイル

加護 ヘイムダル/オーディン/トール

『すみません、
うちの生徒がご迷惑を……』

NAME 大森=ヒリュウ

PL りっか

LEVEL カバリエ2/スーパー1

GUARDIAN レヴィアタン・ヤクト (カバリエ)

■ PC5 板野・アキト (PL…名残雪)

・人物について

フォーチュン第07技術試験隊新人職員、階級は准尉、19歳。

技術試験隊にオペレーターとして新たに配属される予定である。

大学を飛び級で、さらに主席で卒業するほどの頭脳を有している。

6年前のクリムゾンフォート墜落を目撃しておりその時から『戦争を止めたい』と願うようになる。

大学の教授陣に好かれており、色々力を貸してくれるかもしれない。

・PFX-574 ストライク・アルゴール (ファンタズム級)

レムリアの魔法技術をイツモ・連邦の技術で再現を試みた概念実証機。

疑似魔術フィールドを形成することに成功し、二次大戦では目覚ましい活躍を果たすが、暴走事故を起こし搭乗リネージュは死亡、採用は見送られた。

主武装はファンタズムソードとほぼ同等の威力を持ち《オーラ斬り》も再現可能な実体剣『57式特殊高周波ブレード』と、カバリ工用銃器各種を装備する。

現在はリミッターをかけられた状態で格納庫内で眠っている。

STRIKE ALGOL

装備 ファンタズム級軽装型:レムリアソード/ショットガン/
レーグショット

加護 イドゥン/タケミカツチ/バルドル



『できるだけことは
やってみます!』

NAME 板野=アキト

PL 名残雪

LEVEL ファンタズム2/コンダクター1

GUARDIAN ストライクアルゴール (ファンタズム)

オープニングフェイズ

シーン1 『終戦の流星』

——今から6年前、機甲歴0057、2月。

二次大戦末期、ヴォルフ共和国親衛隊による地球へのコロニー落としを防ぐため、ヴォルフ共和国から離脱したヴォルフ第七艦隊と地球連邦の巡洋艦『アードバーグ』の連合軍は決死の防衛作戦を展開していた。

……だがしかし、地球に落下しようとするコロニーは一つではなかった。

連合軍と親衛隊の激戦を地球を挟んで裏側。小型の資源採掘用コロニーが敵別働隊の手によって落とされようとしていた。陽動目的の作戦ではあったが、このコロニーが落ちれば連合軍の必死の戦いも無駄になってしまう。

唯一、この状況に対応できる位置にいたのが連邦軍第507技術試験大隊『パスファインダース』であった。実戦にて実験機、試作機、果ては概念実証機までも投入される様から『モルモット部隊』と揶揄されていたが、同時に確実な成果を上げてきた部隊でもある。

しかし多くの戦いで機体は失われ、稼働可能な機体はわずかであった……。部隊の母艦である巨大戦艦『クリムゾンフォート』もまた、その名が示す深紅の艦体に多くの傷を負いながらも戦場の最中にあつた。その右舷格納庫で、一機のガーディアンが発進準備を整えていた……。

久海↓GM…とすることで、まずはユディットさんのシーンからスタートです。

楠木↓ユディット…ふあっ！ マ、マジでか……てかいきなり宇宙!?

GM…宇宙です。

名護↓アキト…宇宙スタート……。

深淵↓ヘルマン…トラブルスタートみたいな言い方するなよ。

ユディット…キャンプ！ キャンプ！

GM…うっさいモンハンじゃねえ！ さて、キミは自身の搭乗機体であるガーディアン『月光』のコックピットにいる。正面のコンソールが次々に点灯していき機体が起動準備に入っていることがわかる。

ユディット…これ、今から6年前だから……私19歳なのか、若いなあ。

GM…そうだね、若くして戦果を上げているね。さて、コックピットに通信が入る。

ユディット…出ます。

モンハン

大人気狩猟ゲーム『モンスターハンター』の略称。
同ゲーム内でいきなりモンスターの前に投げ出された状態からクエストが始まることを卓内ではトラブルスタートと呼んでいる。

GM：ではモニターに連邦軍の制服をピシッと着こなした男性が映る。このクリムゾンフォートの副長、後藤田中佐だね。

後藤田 (GM)：「ジャック中尉、ユディット少尉。月光は発進準備が完了次第発艦、本艦直上で砲撃体制をとれ」

ユディット：「ジャック中尉？ 誰ですかそれ？」

GM：「ジャックっていうのはキミの後ろに乗っている月光のもう1人のリンケージです。月光は『ツイン・リンケージ・ドライブシステム』というものを搭載しています、砲撃担当と操縦担当の2名が乗ることにより性能を発揮する機体です。**ユディット**：「ほほう……私の名前**ローズ**にしとけばよかったかな。」

GM：「MGS2かよ。……キミの背後のシートから声が聞こえる。」

ジャック (GM)：「月光了解！……ユディ、これが本当に最後の戦いになるはずだ。大丈夫、俺たちの月光ならあんなコロニー、一撃で粉砕できる」
一同：「フラグ積み過ぎだろこいつ。」

ジャック (GM)：「『4度目のシンクス』なんて、この部隊で信じているやつなんかいやしない。生きて帰ろう」

ユディット：「は、はい！……そう、ですわね」

ヤブ蚊↓メレク：「ただフラグを積みすぎれば気が済むんだ……。」

GM：さて、再び通信が入る。今度は整備班主任の夕張・シゲサブロウ主任だね。

ローズ

ゲーム『メタルギアソリッド2』に出てくる主人公、雷電の恋人の名前。
雷電の本名が『ジャック』であることから。

夕張 (GM)：「ジャック中尉、ユディット少尉、月光のエネルギーラインですが連戦で摩耗が激しいです。……補給もままならず申し訳ない、出力には細心の注意を払ってくださいよ？」

ユディット：「大丈夫だ、問題ない」

ヘルマン：まだ**積んでいく**スタイル！

GM：さて、ということでもキミはこれから出撃する訳ですが、その前にこの月光について軽く説明しておきましょう。この月光は試作品の超高出力エネルギー砲を搭載した四脚のデイズター級です。ですが、あまりにもエネルギー消費が激しいため単体での使用はできません。そこでこのパスファインダーズでは、クリムゾンフォートのジェネレーターと月光をケーブルで接続することによりこの問題を解決しました。キミの月光はさながら移動砲台のような運用をしてきたという訳です。

ユディット：つまり母艦にくっついて撃つという訳ですね。

GM：そうですね。

整備班 (GM)：「月光発進準備完了！ いつでも行けます！」

ユディット：「行きますよ、ジャック」

ジャック (GM)：「了解だ。行こう、ユディ」

ユディット：「月光——発っ進！」

積んでいく

フラクは積むもの。むしろ積みすぎるとフラク崩壊を起こす可能性すらある。

でもジャックは死にます。(壮大なネタバレ)

GM..リニアカタパルトから高速で射出される月光。宇宙(そら)の戦場に飛び出ると、すでに前衛の**ミールス**部隊が戦闘を開始していた。

ユディット..みんなも後々こういう風に発進するんですね!

GM..そうだよ!

ジャック(GM)..「彼らが敵を引きつけている隙にコロニーを叩くぞ。月光、ハイエネルギーアクセラレーター砲、スタンバイ!」

GM..すると、月光の背部に折り畳まれていた長大な砲身が組み上がり、一本の巨大な砲を形成する。

ジャック(GM)..「コネクトスタンバイ!」

GM..クリムゾンフォートから伸びたエネルギーケーブルが月光と接続され、砲撃準備が完了する。

メレク..やばい、熱いなあ!

GM..さて、ユディットさん、【砲撃】 11で判定して下さい!

ユディット..ファンブルが出なければ大丈夫……。

アキト..ファンブルが出なければ平気だよお(嫌な笑顔を浮かべる)。

ユディット..やめてくださいよお!? (コロコロ……) うわあつぶな! ギリギリ成功です。

ヘルマン..いきなりヤメてくれよ!?

ミールス

量産型ガーディアンのこと。
ガーディアンのような奇跡の力を持ち合わせてはいないが、数によってそれを補う戦場の主力。
ガンダムで言うところのジムとかザクとか。

リっか↓ヒリユウ..この先大丈夫か？

GM..クリムゾンフォートに接続された月光が背負う長大な砲身を備えた『ハイエネルギーアクセラレーター砲』。一撃必殺のその砲撃が、今放たれた！

ユディット..「や、やったか……？」

GM..やりましたね。文字通り一撃必殺。コロニーは爆発四散です。

ジャック(GM)..「やったぞユディ！ 成功だ！ コロニーは木っ端微塵、これなら地球に被害はないはずだ……しかし、エネルギーギリギリだったな。パワーダウンで動けやしない」

ユディット..「危なかつたですね。でも、これで……」

GM..その瞬間、突如コックピット内に警報が響くね。

ユディット..おう……。

ヘルマン..お？ SANチェックか？

GM..違う！ コロニーの残骸から大量の大型ミサイルが飛び出す。……それは正に敵のおぞましい執念のように見えた。クリムゾンフォートが地球の盾になるかのようにその身を晒し、対空砲火が一斉に火を噴く。

ユディット..わ、私たちも迎撃できませんか？

やったか

大抵の場合はやってない。

SANチェック

TRPG『Call of

Cthulhu』の代表的なゲ

ームシステム、正式名称は『正

気度喪失』。

余談も余談だが『SAN』と

は『Sanity』即ち『正気』

の略である。決して『SUN』、

太陽パワーではない。

GM..月光にはもうそのエネルギーは残されていないね……対空砲火により次々に爆発してゆく大型ミサイル。しかし、その弾幕を一発のミサイルがすり抜ける。ミサイルはキミたちのいるクリムゾンフォートの甲板に直撃した。

ユディット..あかーん! 「き、機体制御を!」

GM..しかしそれもむなしく機体の各所が小爆発を起こす。機体が限界を迎えたのだ。クリムゾンフォートから弾き飛ばされる月光。繋いでいるのはたった一本のエネルギーケーブルだけであった……。

オペレーターA (GM)..「機関出力低下! このままでは当艦は地球の引力に引かれ大気圏に突入してしまいます!」

オペレーターB (GM)..「第32、34、56、78番隔壁閉鎖! ……ダメー

ジコントロール間に合いません!」

オペレーターC (ヘルマン)..「艦長!?!」

後藤田 (GM)..「月光! 月光応答しろ! ジャック! ユディット!」

GM..そんな通信の飛び交う中、キミの意識はゆつくりと闇に溶けていった……。

ユディット..ああ、衝撃で……。

GM..キミが最後に聞いたのはこんな言葉であった。

ジャック (GM)..「お前だけは、死なせない……ユディ……平和な世界を、月光と共に護って……くれ」

「艦長!?!」

おい今PCが勝手にNPCや
ったぞ。時々ある。

ユディット…「ジャ……ツク……」

アキト…これ最終話だったっけ？

ユディット…完！

GM…何を言うか、まだまだ続きますよ！ さてさて、ここで場面が切り替わります。アキトくんのシーンです。

アキト…ん、俺？

GM…輝く夜空、上総の空は澄み渡っていた。多くの流星が空を流れてゆく。最後にひととき大きな赤い光が上総の山に落ちてゆくのを、中学生である板野・アキトは眺めていた……。

ユディット…おお、そう繋がるんですか。

GM…アキト君、キミはそれを見て何を思うだろうか（キャラクターシートの経験の部分に指を置きつつ）。

アキト………せ、戦争を、止めたい？

GM…そうだね！ では、キミはこの瞬きは戦争で産まれた光なのだと感じた。綺麗な光——でも、その光の中で幾百幾千の命が燃え尽きているのだと。

アキト…あからさまな誘導を見た。

GM…ハハハ。では、改めてアキト君には『戦争を止める』の使命を差し上げます。

アキト..はいはい。

GM..さらにユディットさん、あなたには『月光を受け継ぐ』の使命を差し上げます。

——その日一つの戦争が終わり、そしてまた新たな混沌に世界は歩みを進めていくことになる……。

これは、先駆者の名と共に世界を護る戦いに身を投じた者達の記録である。メタリックガーディアン・パスファインダーズ、ここに開幕。

ヒリュウ..これでアニメ一期終了だな。いやあ、良い一期だった。

一同..おつかれさまでしたー！

GM..開幕つつつてるだろ！（笑）

メレク..超鳥肌立った。もう今日は**ココイチ**でご飯食べて帰ろう。

GM..おい！（笑）

ユディット..これで6年後にまだ月光乗ってられるのかなあ……。

GM..と言うわけで次のシーンからは現在に時間を移すよ！

ココイチ

正式名称『カレーハウスC.O. 吉番屋』、某こってりラーメン店と違って全国に点在しているカレー屋さん。もちろん千葉にもたくさんある。筆者はココイチを応援しています。オススメのトッピングはガーリック。

シーン2 『静かなる街』

——地球に浮かぶ島国『イツモ』、その片隅に存在するのどかな港湾都市『上総市』。山と海に囲まれ、名産である上総海老の漁獲高を除けばさして特徴もないこの街から、物語は動き出す……。

GM…という訳で、ここのシーンプレイヤーはメレクさんになります。

メレク…はい！

ヒリュウ…二期が始まった。

ヘルマン…二期OPの作画崩壊起こさないわー。

メレク…後半息切れして作画崩壊起こさないといいな。

GM…えー、先ほどの二次大戦から6年の月日が流れています。ここは上総市、首都からも離れた自然豊かな都市です。上総海老と呼ばれる海老の水揚げ量はイツモ一です。どうかそれくらいしか際立ったものない、いわゆる田舎です。

ユディット…上総海老……。

GM…この街の片隅にある孤児院『あかりの家』でメレクは暮らしています。現在時刻は朝8時過ぎといったところ。これからあなたは通っている学校に行かないといけないところですね。

2期OPの作画

大抵ネットでは『1期の方が良かった』とか言われることが多いけど時々神がかった2期OPってあると思う、と言っ心境。

作画崩壊

それでもスタッフは頑張ってるから。本当に好きなアニメだったら応援してあげよう。

ユディット…いけない遅刻遅刻ー☆

アキト…上総海老を啜えて……。

——全員が吹き出して一時中断。

ユディット…海老味噌すりながら登校する女子高生ってなんですか。(笑)

GM…(崩れ落ちながら) くっそこんなんで! ……ふーっ。さて、ということ
でキミはこれから学校に行かねばならない。なので孤児院の玄関を出るところだ
ね。そこで声がかけられる。

アマネ(GM)…「あらメレクちゃん、いつてらっしやい。気をつけてね」

GM…声をかけてきたのはこの孤児院の院長である明里田・アマネだね。おっ
りとした雰囲気の良い女性だ。

子供(GM)…「メレクおねえちゃんいつてらっしやい」

GM…キミより年下の子供達もそう言っ元気に手を振っている。ここにいるの
は全員戦争で親を失った孤児たちだ。もちろんメレクも例外ではない。

メレク…ラーフ帝国に生まれ故郷を滅ぼされたからね。じゃあ「いつてきます!」
と言っ家を出ます。

GM…では学校へ向かう途中、後ろから誰かに声を掛けられますね。



◀ 明里田・アマネ

? (GM) : 「メレクさーん。おはよー」

ヒリユウ : ヒロインキター。

GM : そういつて声をかけてきたのは同じクラスの的場・カズユキだね。眼鏡をかけた利発そうな青年だ。

ユディット : ヒロイン。(笑) こっちの男の子の方がヒロインなんですね。

ヘルマン : このクソ眼鏡が。

GM : ひどいつ!

ユディット : や、やめたげて下さい……。

ヒリユウ : いつ死ぬんだろう……。

GM : やめる!

メレク : とりあえず「おはよう」と返しときます。

GM : では彼はキミの隣に並んで学校に向かいますね

的場 (GM) : 「ねえねえそういうえげさ、今度の校外学習でイヅモ防衛軍の新型を見学しに行くことになるらしいよ!」

メレク : 「へー!」……これはチャンス。

ヘルマン : な、なんのチャンスだよ?

的場 (GM) : 「一体どんなやつなのかな? カバリエ級かな? それともデザイナー級……もしかしたらスーパー級かも! いやあ楽しみだなー!」

クソ眼鏡

提示したイラストが別システムのセクションで登場した某NPCに似ていた。

◀ 的場・カズユキ



GM..と、ウキウキしているような感じだね。

メレク..私はメラメラしてる。

ヘルマン..復讐の炎か……。

GM..まあこんな感じで話しながらキミたちは学校へ向かう。キミたちが通う上総第一高校は小山の上に建てられた学校だ。そろそろ予鈴のチャイムがなるね。
的場 (GM)..「メレクさん急ごう！」

GM..そういつて彼は駆け出すね。

メレク..「家まで競争！」

ヘルマン..この娘、学校を目の前にUターンしたぞ!?

GM..トトロかよ。(笑)

……ま、まあキミたち2人は生徒の波の合間を縫って教室に向かった……というところで一旦シーンを切ろう。

シーン3 『教師』

——上総第一高校の職員室。教師である大森・ヒリュウも、ここで朝の職員会議に参加していた。

トトロ

恐らく知らない人はほとんどいないであろうあのジブリ作品のこと。

余談だがカンタはジブリ作品で上から2番目くらいにイケメン、1番は豚。

GM..さて、シーンプレイヤーはヒリュウさんです。

ヒリュウ..はい。

GM..ここは上総第一高校の職員室。現在ホームルーム前の職員会議が行われています。教頭が今日の予定や何やらを話していますね。

教頭(GM)..というわけで校外学習を行う2年担任の先生方は、お願いします」

GM..ちなみにヒリュウさんは2年G組の担任です。

ヒリュウ..まあ、メレクのクラスだよな。

GM..そうですね。ちなみに的場くんもG組です。そうこうしているうちに職員会議も終わり、教師達はそれぞれの席に戻っていきます。あなたも自分の席に戻りますが、デスクのPCを見るとメールが一通届いていますね。

ヒリュウ..そのメールを開こう。

GM..メールの宛名には『from:ユメ』と書いてあります。

ヒリュウ..妹キター！

ヘルマン..明らかに**趣味**で妹の名前つけたな。

GM..「おにいちゃん元気してる？ こっちは——」といった他愛のないような内容です。

ヒリュウ..ふむ。

趣味

妹の名前はヒリュウのP.L.であるりっかがセツシヨン前に命名した。

某絵を描くのが好きなアイドルの子とは全く何も関係は無い、無いたら無い。

GM..あなたはハンドアウトにもあるように、実家である大森家から出奔している身です。なので、ここしばらくは彼女とも会ってはいません。そのメールの文面には明確には書かれてはいませんが、彼女のあなたに会いたいという気持ちが強く込められているように感じました。

ヒリュウ..返信しよう。

アキト..ものすごい勢いでキーボードを打鍵してそう……。

ヒリュウ..ドダダダダダダダダダダッ！ ツタン！

GM..シスコンだった！

ヒリュウ..「そのうち、こつそりと会いに戻るから」といったような内容を送っておく。

アキト..その間、メールの確認からわずか2秒。

GM..……ではメールを送ったと。そろそろホームルームの時間だね。

ヒリュウ..「まったくめんどくさいな」

GM..こいつやる気ねえぞ！

▼ シーン4 『平和な日常』

——上総第一高校、2年G組の教室は今日も賑やかだった。駅前に来てお店の話、部活動の話、放課後の予定……そんな他愛のない会話が飛び交っていた。

GM.. それでは場面は変わってここは第一高校2年G組の教室。間もなく朝のホームルームが始まります。ガラガラと扉を開け担任であるヒリュウが教室に入ってきます。

メレク.. 「ぐーぐー……」

生徒（ヘルマン）.. 「せんせー、メレクさんが起きませーん」

GM.. ホームルームで早速!? ……先生、寝てるそうですが？

ヒリュウ.. 「メレクー。眠いのはわかるがとりあえず聞いとけよー」

メレク.. 「ふわっ……」

GM.. 校外学習の話とかもありますからね。

生徒（アキト）.. 「うえーかったりーなー」

ヒリュウ.. 「黙らないと今度はチヨーク飛ばすぞー」

ユディット.. チヨーク投げ……。

GM…さて、そうしてヒリュウ先生の話が始まる訳なんですが、この教室について軽く説明させてもらいます。この世界の科学技術はガーディアン関連技術を除いては我々の世界とほぼ同程度かやや進んでいる程度と考えて下さい。

ヘルマン…ふむ。

GM…ということで生徒はノート代わりにノートPCを用いますし、黒板もデジタル式です。

ヒリュウ…うちの世界の最新式の学校っぽい感じだな。

GM…ほいで、そのデジタル黒板の上やPC上にはリアルタイムでニュースが流れてくるテロップがあります。そこにこんなニュースが流れてきます。

ニュース (GM)…「本日鳳市で奈落獣による襲撃が再び発生。イツモ防衛軍はテロ組織『ディステイニー』がこの事件に関与している可能性を示唆。テロ組織『ディステイニー』はラーフ帝国との繋がりも噂されているが、ラーフ帝国側は関与を否定している……」

GM…このディステイニーについては軽く説明しておいた方がいいかな？

ヘルマン…そうだな。

GM…このディステイニーはイツモ国内で活動するテロ組織です。**ALTIMA**が豊富に存在するイツモにアビスゲートを開き**アビスエネルギー**を取り出すこ

ALTIMA

第一次大戦以前の古代遺跡から発掘される特殊金属。

精製する手法は一次大戦の大崩壊により失われており、現在は遺跡から発掘されたものを再利用しガーディアンを製造するのが主流。

アビスエネルギー

ALTIMAと並ぶ、この世界における何でもできるエネルギー。ただし副作用があったりするので使うと大抵ろくなことになる。

ゲーム的には『敵側のエネルギー』に使われることが多い。

とが目的です。ニュースの通り裏でアビスエネルギー立国であるラーフ帝国と繋がっているのではと言われています。

ユディット…うちは関係ないですよ？ って感じですか。

GM…公式上そういう態度を取っていますね。さて、メレクさん。

メレク………。 (キャラシートにイラストを描いている)

アキト…メレクさん！

メレク…ふあ!? はい！

ヒリュウ…ほんとに居眠りか。(笑)

GM…メレクさん、あなたはラーフ帝国に強い恨みがありますよね？

メレク…あるよ。国も家族も奪われたんだもん！

GM…ですね。いつか必ず、ラーフに復讐を遂げるとあなたは胸に誓っていますね？

メレク……誓っています。

GM…ではあなたに『ラーフ帝国の企みの阻止』の使命を差し上げます。

メレク…前回のキャラ制作時に『**帝国打倒!**』って書きちゃったんだけど。

GM…ま、まあそれでもいいです……。

ヘルマン…すげえスケールでかくなつたな。

アキト…女子高生が胸に秘めるような内容じゃない……。

帝国打倒!

メレクのPLヤブ蚊さんは基本的にエネミーに対して容赦が無い。

GM.. 続いてヒリュウさん。あなたは心の奥で『悪』に対する憎悪が沸々とこみ上げる。だが教師としてそれを表に出すことはない。ということで胸に秘めたる使命『悪を許さない』を差し上げます。

ヒリュウ.. 父親の会社である『フフォーレグループ』もアビス技術に手を出しているという噂もあるからなあ……。

GM.. そういった各々の胸中に秘める思いもありますが、平和な日常は淡々と過ぎていきます……。

▼ シーン5 『第07技術試験隊』

——フオーチュン第07技術試験隊基地。上総市の山間に存在する民間警備組織『フオーチュン』の新型機開発のための試験などを行うための基地である。

そこに向かう板野アキトが山間の道を抜けると、突如目の前に広大な空き地が現れる。その奥に深紅をまとった巨大な宇宙戦艦が鎮座していた。それこそが試験隊の司令部『クリムゾンフォート』であった。

GM.. では次のシーンです。プレイヤーはまずアキトさん。

アキト…はい！

GM…さて、あなたは本日フォーチュンに配属される新人です。配属先の07技術試験隊基地は上総市の山奥にある訳ですが、そこまで何で行きます？

アキト…バイクで。

GM…ほう、では問題はないですね。街からかなりの距離がありましたが無事基地の正門までやってきました。正門をくぐるとだだっ広い運動場のような広場が延々と広がっていますね。その奥の方に建造物が見えます。あなたはそれに見覚えがあるかもしれません。

アキト…「クリムゾンフォート……」

GM…その通り。6年前のあの夜、この山に落下する姿をあなたは目撃しています。現在は墜落地点を整備しそのまま07技術試験隊の基地として運用されているようです。あなたはここにオペレーター候補としてやってきました。

アキト…階級は准尉。見習い士官だ。

GM…ということ、まずあなたはこの基地の司令である後藤田という人物に会うねばなりません。

アキト…じゃあ真面目にクリムゾンフォートに向かうかな。バイクで近くまで行く。

GM..ではあなたは800メートル近くある敷地を横断しクリムゾンフォートの麓までやってきました。近くで見るとその大きさがよくわかります。ちなみにクリムゾンフォートの全長は...700メートル。高さは一番高いところで150メートル近くあります。

ユディット..でか!?

アキト..バイクのメットを脱ぎつつ「いやー、ついに来たなあ! ...さて、受付は？」

GM..入り口がわかりませんね。

アキト..え、マジで？

GM..ただ、ここに向かっている最中にクリムゾンフォート左右正面にある格納庫と思しき場所のうち、右舷側が開いていたのは確認しましたね。

アキト..じゃあその右舷側の格納庫の方にまわってみようかな。

GM..了解。ではあなたは右舷格納庫の正面へやってきました。中では恐らく整備班と思われる作業服姿の人々がせわしなく動き回っていますね。その中に、1人女性が佇んでいます。ということでユディットさん登場です。

ユディット..うん。

GM..キミは月光の近くにいる感じかな？

ユディット..あ、月光あるんだ。

GM…あります。ありますが、この月光は改造が施されています。

ユディット…うん？

GM…元々搭載されていた試作品の**HEA砲**は先の大戦で大破して使い物にならなくなってしまうため取り外され、代わりに大型レールキャノン2門が搭載されています。さらに、相棒となるガンナーリンケージが存在しないため『ツイン・リンケージ・ドライブシステム』は封印され単座での操縦が可能なように変更されています。

ユディット…そっか、ジャック……。

GM…ですが、元々複座を想定して製造された機体であるため、現在では本来の性能を引き出すことができません。ということで現状では加護が使用できない上に、各判定値の値が-1されています。

メレク…ええー!?

ユディット…-1……まあ、仕方ないですね。

ヒリュウ…同乗NPC早よ。

GM…とまあそんな感じになってしまってる月光、もとい『月光・改』をあなたは眺めている感じでしょうか。周りは整備班の人々の大声や機械音が響いています。

整備班A (GM)…「おーいさっさと17番レンチもってこーい！」

HEA砲

『High Energy Accelerator

砲』の略称、実際に『ディザスタ
ー級の専用武装としてルルフ
にも存在している。

余談だが実際のセッションの
時、久海は『High Energy
Association 砲』とか言っていた。
安定の英訳力である。

整備班B (GM)：「おっせーんだバッキヤロー！」

アキト：「じゃあ、そんな男臭い整備班の中に女性が1人いるのは目立つと思うので声をかけるかな。」

ユディット：「私は整備服の上を腰で巻いてる感じかな。それで月光を眺めている。」

アキト：「すみませーん！」

ユディット：「はい」

アキト：「あの、今日からここに配属された、板野アキトと申します！」

ユディット：「……はい」

アキト：「司令の後藤田中佐はどちらにいらつしやりますでしょうか！」

GM：「あ、失礼。後藤田さんは中佐から大佐に昇進しています。」

ユディット：「え、そうなんですか。」

GM：「うん、まあ戦艦の副官から基地司令になったわけですし。」

アキト：「では改めて「後藤田大佐にお会いしたいのですが！」で。」

ユディット：「私は大佐の居場所を知ってるんですけどいいですか？」

GM：「居そうな場所はないかとなく想像がつくね。」

ユディット：「ふーむ。では「じゃあ、ついてきなさい」

アキト：「はいっ！」

ユディット：「元気だなあ……。」

GM..ではユディットはアキトを連れて後藤田司令のいそうなところに向かう。

——クリムゾンフォートの脇には、場違いに整えられた家庭菜園が広がっていた。そこで、フオーチュンの士官服に麦わら帽子の男性が作業をしているのがアキトの視界に入る。

GM..ユディットの予想通り、司令は基地敷地内に作られた家庭菜園にいたね。
ユディット..さ、菜園……。

GM..彼は麦わら帽子を被り農作業に勤しんでいますね。キミたちに気づきます。

後藤田 (GM)..「お？ おお、キミかぁ、今日配属っていう新人は。どうも、この基地の司令の後藤田です」

GM..と、片手にクワ、頭に麦わら帽子で語りかけてきます。

ヒリュウ..農作業のオッサンじゃねえか……。

後藤田 (GM)..「エリート君なんだってえ？ うちみたいなどころにわざわざ来てくれてありがとうねえ」

アキト..「いえ！ 私の希望でここに配属させていただきました！」

後藤田 (GM)..「あらあら……随分奇特な子もいるもんだね」

GM..と、ぼそりとユディットにつぶやきます。



◀後藤田・ムサシ

アキト：「子供の頃から、ここで働くのが夢だったんです！」

後藤田（GM）：「いやはや、元気でいいね」

ユディット：「元気があるのはいいことです」

アキト：「よろしくお願いします！」

後藤田（GM）：「若いって……眩しいな」

GM：さて、そんな掛け合いをしているとそこにもう1人女性が現れます。

？（GM）：「司令、またこんなところで油を売って。まだ確認していただいていない資料が山ほどあるんです。司令室まで来てください」

GM：そう言つて目付きのキツめの美人がやってきます。彼女もフォーチュンの士官服を来ていますね。彼女の名はモニカ・フォン・シャルンホルスト、後藤田司令の補佐官ですね。また、地球連邦から派遣された監察官でもあります。

後藤田（GM）：「あーらら、捕まっちゃった。あ、じゃあついでに2人にも一緒に来てもらおうかな。お願いしたいこともあるしね」

アキト：「了解致しました！」（ビシッ）

後藤田（GM）：「ユディもいいかな？」

ユディット：「はい」

GM：ではキミたちはモニカと後藤田に先導されてクリムゾンフォート内に入ることになる。艦内はあちこちぼろぼろだったり、壊れている場所が見て取れる。



◀モニカ・シャルンホルスト

後藤田(GM)：「ひどいもんでしょう。なかなか修理が行き届かなくて、かれこれ6年こんな感じだよ」

アキト：「そうなんですか。整備班の人たちは何をやっているんですか?」

後藤田(GM)：「いやあ、整備の連中も頑張ってくれてはいるんだけどね、予算が降りないんでガーディアンに全部資材行っちゃってねえ……」

モニカ(GM)：「現在この第07技術試験隊基地は司令部と一部の対空兵装を除き未稼働状態となっています」

後藤田(GM)：「そうなんだよねえ。せめて喫煙室だけでも修理しない?」

モニカ(GM)：「予算がありません」

後藤田(GM)：「だよねえ」

GM：「そうこうしているうちに司令部に到着します。そこは戦艦の艦橋を思わせる——いや艦橋そのものだった。何人かの職員と思われる人々がコンソールに向かって作業を行っているようだ。」

後藤田(GM)：「じゃあ改めて、ようこそフォーチュン第07技術試験隊基地に。」

早速なんだけどさ、キミらにお願いしたいことがあるんだよねえ」

アキト：「はい! なんてでしょうか!」

何をやっているんですか?

こんなことをさっくり聞いてやう辺り、アキトくんの空気の読めなさは折り紙付きである。

後藤田(GM)：「今度イツモ防衛軍の方々がね、新型機のお披露目をするからうちの演習場を使わせろって言ってるんだよ。で、その演習に上総第一高校の生徒さんが校外学習で見に来るって話だから、案内よろしく」

ユディット：他のPCと繋がった……。

アキト：「あ、案内ですか？ 自分、まだ配属されたばかりで何もわからないのですけど」

後藤田(GM)：「ああ、わからないことがあったらそのユディット中尉に聞いてユディット：「私ですか……」

後藤田(GM)：「あ、彼女、うちのリンケージね。じゃあ、よろしく」

GM：「と言いつつ、モニカに後藤田さんが引つ張られていくところで1回シーンを切ろう。」

アキト、ユディット：ポカーン……。

シーン6 『亡命軍人』

——上総市を含む広域の守護を担う『イツモ防衛軍第3管区支部』。その管区支部に、瞳の色の異なる軍人がいた。

GM..お待たせしました、ヘルマンさんの導入ですね。

ヘルマン..おう。

GM..あなたは現在上総市を含む地域一帯の防衛を担っているイツモ防衛軍の第3管区基地に所属している防衛軍少尉です。あなたはこの基地の司令に呼び出されています。

ヘルマン..じゃあ向かおうか。

GM..ではキミは基地の通路を執務室に向けて歩いていきます。すると通路ですれ違う連中がキミを見てニヤニヤヘラヘラしている感じですね。ヒソヒソと「亡命軍人……」「蝙蝠野郎……」といった声が聞こえたような気がします。

ヘルマン..……気にせず行きます。

GM..ではキミはそんな声を無視して、執務室の前までやってきました。

ヘルマン..「ヘルマン・ブライトナー少尉、入ります」

GM..部屋の中から「入れ」という声が聞こえます。キミが部屋の中に入ると、この基地の司令である扶桑・ゲンザブロウが座っています。防衛軍の軍服をビシッとまとったやや神経質そうな壮年の男性ですね。

ヘルマン..うわあ見るからにめんどくさそうなおッサンだな……。

ユディット..めんどくさそう……。

ヒリュウ..めんどくさそうだな

メレク..めんどくさそうなジジイだ。

ヘルマン..第一印象最悪だな。(笑)

GM..お前らな……。彼は眉間に皺を寄せたままキミに話し出す。

扶桑(GM)..「ヘルマン少尉。キミに任務を与える」

ヘルマン..「はっ」

扶桑(GM)..「近く、フォーチュンの試験基地を用いて、そこで我々防衛軍の新型機『ムサシマル・MkⅢ』のお披露目式を行う。近隣の民間人も招いて大々的に行う予定だ」

メレク..ムサシマル……？

アキト..ださい……。

扶桑(GM)..「そこで貴官には、フォーチュン側との渉外役を命ずる」

ヘルマン..つまりあちらさんとこっちの連絡係をしろ、ってことか。

扶桑(GM)..「やつら07技術試験隊は新型機開発もロクにせず惰眠を貪るような寝坊助野郎共(スリーピーヘッズ)だ。我々がヤツらの広いだけの基地を有効活用してやろうということだ。異論はないな？」

ヘルマン..「はっ」

扶桑(GM)：「普段暇を持って余している貴官にはちょうど良い任務だろう。せいぜい頑張らたまえ。下がってよい」

ヘルマン：「了解しました」と嫌味を意にも介さず部屋を出ます。

GM：ではキミは部屋を出て任務へ向かうわけだけど、キミはこの基地で相当肩身の狭い思いをしているね。理由はわかるかな？

ヘルマン：俺が**ヴォルフ共和国**からの亡命軍人だからだ。

GM：その通り。だがキミはそんな苦境でも、きつと人同士は分かり合えると信じている。使命『対話を求める』を差し上げます。

シーン7 『忍び寄る影』

GM：このシーンはマスターシーンとなります。

メレク：マスターシーン？

GM：GMが間に挟み込めるイベントシーンとでも考えておいてください。

メレク：なるほどー。

GM：夜の上総市を一望できる山間、そこに佇む影があった。

ヴォルフ共和国

宇宙に浮かぶコロニー国家。
6年前に地球連邦と戦争をしていた。

? (GM) : 「ふふん、今回のターゲットはこの街じゃ。さあ皆の者、いつものように派手に奪うのじゃ」

GM : 年端も行かぬ少女の、尊大そうな声がささやく。

ヘルマン : ロリババアかっ!?

ヒリュウ、アキト : ロリババアっ!

GM : 黙れ H E N T A I 共。……それに呼応するようにゴゴゴと何かが起動する音が響く。あちこちでガーディアン、ミールレスが起動してゆく。

? (GM) : 「ブラック・クライシス団。進撃じゃっ!」

ユディット : 名前がださい……。

アキト : 名前が三流……。

GM : そう言つてやるなよ……では、次のシーンに移ります。

ロリババア

見た目は幼女、中身はババアとか言う最強の属性。ただしこの人はロリババアでは無い。

ミドルフェイズ

シーン8 『イーヴン・リッパー』

GM..と、言うわけで件の新型機お披露目会の朝になりました。さて、ヘルマンさん、あなたは現在涉外役として07技術試験隊の基地にやってきていますね。
ヘルマン..軍用ジープで！

GM..はい、ではあなたは早朝の少し霧がかかった広大な土地を進み、司令官と思しき人や他の何人かが集まっている場所へ向かいます。ユディットさんとアキトさんもそこにいることにしましょう。

後藤田 (GM)..「お、防衛軍の方ですか？ どうもどうも、司令の後藤田です」
ヘルマン..「イツモ防衛軍所属、ヘルマン・ブライトナー少尉です」

後藤田 (GM)..「ああ、こりやどうもどうも。しかし、防衛軍の新型ですかあ、ウチは試験隊と言っておきながら中々試験機が来なくてですなあ……いやあ羨ましい！」

ヘルマン..ところで俺はその新型については何か知ってるの？

GM..いや、キミが知らされているのは披露会の段取りとかまでだね。

ヘルマン..じゃあとりあえずその辺についてアレコレ話します。

GM..はい、では後藤田さんはそれを聞きつつあなたと段取りを確認しますね。

ユディット..つまり軍の人はこの土地だけ使わせてほしいってことですよね？

GM..そうだね、広さだけなら800×1000メートルくらいはあるね。

ヒリュウ..ひろーい。

後藤田 (GM)..「じゃあユディット中尉、アキト准尉、準備が終わるまで彼を食堂にでも案内してあげて」

ユディット..「はい、了解です」

アキト..「はっ！ かしこまりました！」

GM..では、2人に案内されて艦内に向かう前に、後藤田さんがヘルマンさんに声をかけますね。

後藤田 (GM)..「ヘルマン少尉……あなた、中々良い目をしている。昔はぶいぶい言わせてたんじゃあないですか？」

ユディット..ぶいぶい (ダブルピース)。

メレク..ぶいぶいっ (ダブルピース)。

アキト..信じて送り出したヘルマンが……。

ユディット..ちよっと……待って……。 (笑)

(ロールを続けているGMとヘルマンの背後で笑い崩れている)

GM：キミは過去、ヴォルフ共和国の軍人だったわけだけど、どう言うところに配属されてたのかな？

ヘルマン：うーん、普通に陸戦の……歩兵、とかじゃない？

GM：ふむふむ、なるほど了解。

ヘルマン：では、後藤田さんに対して「いや、そんなことは……：自分はただのしがない一軍人です」と返して艦内へ向かいます。

GM：では、キミはユディットさんとアキトさんに案内されクリムゾンフォートへと向かう。じゃあ食堂に向かうまで適当にロールどうぞ、今のうちに軽く親交を深めといてください！

ユディット：これどうアプローチしましょうかね？ ユディットさんあんまり積

極的に声かけなそう……。

ヒリュウ：ここはやっぱり元気なアキトくんが！

アキト：「板野・アキト准尉です！」

ユディット：あ、じゃあそれに続きます「ユディット・ミュラ中尉です」

GM：お、ヘルマンさん、では2人の自己紹介を聞いて、ユディット・ミュラと言う名前に聞き覚えがあります！

アキト：アイデアどうぞ！

アイデアどうぞ

TRPG『Call of Cthulhu』でPCが使用するステータス『アイデア』から。
ひまつぶし卓では初めてやったセッションがCOCだったためか、COCネタがよく出る。

GM..アイデア。(笑) でもアイデアを使用するまでもないですね、それくらい彼女の名前は有名です。……『イーヴン・リップパー』。この名前はヴォルフ共和国や連邦に轟き渡るほどの名声を持っています。と言うことでユディットさん、キミのハンドアウトの内容をちよっと教えてあげてください。

ユディット..はい。——6年前の第二次世界大戦にて若くしてリンケージに覚醒し、目覚ましい戦果をあげていたが、私の所属している部隊は戦果の代わりに『4度目の出撃で必ず壊滅的な被害を受ける』と言うジンクスに囚われていて、敵味方を平等に刈り取る死神『イーヴン・リップパー』として畏怖の対象となっている。……これって敵味方両方から恐れられているってことですか？

GM..両方ですね、有名人です。と言うわけでヘルマンさん、あなたは元々ヴォルフ共和国の軍人なので、その名前に聞き覚えがありました。

ヘルマン..なるほど。

ユディット..……因みにさっきの6年前の導入シーンはやっぱり4回目、なんでしょ？

GM..4回目です。

ユディット..あっはっは(乾いた笑い声)……はい。

ヘルマン..じゃあ、その名前を聞いて少しだけ目を見開く感じ。声には出さないけど「こいつが……」みたいな。

ユディット..ではその視線に気付いて目を逸らします。

ヘルマン..「.....ヘルマン・ブライトナー少尉です、よろしくお願ひします」

ユディット..「.....よろしく」

アキト..「よろしくお願ひします!」

GM..階級ではユディットさんが一番上だね。

ユディット..マジかよ、うわー。(笑)

GM..では、そう言った会話をしたと言うことでシーンを区切ろう。

▼ シーン9 『兆し』

GM..ではこのシーンは全員登場してもらいます。場所はクリムゾンフォート右舷格納庫近くの演習場だ。現在ここには校外学習にやってきた上総第一高校の生徒たちや教員、他にも一般で見学に来てきた人たちがワラワラといえるような感じだね。離れた場所には出店なんかも出ています。

ヘルマン..お祭り感覚かよ。

お祭り感覚

実際、田舎のちよつと大きな行事なんてみんなお祭りみたいなものである。

GM..うん、まあお祭りみたいな感じですね。さて、まだ演習開始までは時間があるようで、その間にユディットさん、アキトくん、ヘルマンさん、あなた達は後藤田司令に呼び出されます。

後藤田(GM)..「あーキミたち、まだ結構時間があるみたいだからさ、上総第一高校の生徒さんたちに格納庫の中を案内してあげてもらってもいいかな？」

ユディット、アキト、ヘルマン..「了解です」

GM..では後藤田さんは「じゃあよろしく!」と言って執務室に戻るとそのままソファで横になりましたね。

メレク..うわー、ひどい!

ユディット..「……私はもう慣れてるんですよ？」

GM..うん、キミは慣れっこだね。

ユディット..えーと、じゃああまり気には留めないかな？

後藤田(GM)..「ぐごー、ぐごー」(いびきをかいている)

アキト..「あ、あれは……よろしいんですか？」

ユディット..「え、えっと……大丈夫です。彼なりの精神統一です!」

ヘルマン..「中尉がよろしいなら……」

アキト..「あれで、**気を高めている**と言っことですか？」

ユディット..「そうです」(即答)

気を高めている

いわゆるシエスタだ。

メレク…誤魔化し方が……。 (笑)

GM…では、あなた達は一度演習場に出て上総第一高校の引率者であるヒリユウ先生と合流します。ヒリユウ先生には今回、生徒たちに格納庫の見学もさせてもらえると言っていることは伝わっています。

ヒリユウ…うん。

GM…と言うわけで、ヒリユウ先生の前に軍服を来た3人がやってきます。まずはG組、メレクさんや的場くんがいるクラスから先に入ることになっていますね。的場くんは既にあっちこっち**写真を撮りまくっています**。

的場 (GM)…「わー！ うわー！」 (シャッター音)

ユディット…えーと、案内するんですよ。では名乗った後に「上総第一高校の方ですね、ご案内いたしますので、こちらに」とヒリユウ先生に声をかけます。GM…ではキミが名乗ったタイミングで「ユディット・ミュラ!?」と言う声が聞こえますね、的場くんが反応してみたんだ。

ユディット…ああ、やっぱり有名なんですね……。

ヒリユウ…「的場、静かにしろー」

的場 (GM)…「あ、はい……」

ユディット…それに続いて残りの2人も紹介する感じで。

写真を撮りまくっている

公共の場ではルールに則って
写真を撮ろう！

ヒリュウ…じゃあ「上総第一高校で教員をしております、大森・ヒリュウと申します、本日はよろしくお願ひします」と。

GM…はい、ということであなたちは格納庫へと通されます。格納庫の中はかなり鉄臭い空気が漂っているね。右舷格納庫には全部で6つのハンガーがあるよ。ここには現在5機のガーディアンが駐留しているようだね。

ユディット…5機。(プレイヤーの人数を確認するように見渡す)

ヒリュウ…へー、5機。

メレク…ほほう。

GM…クリムゾンフォートのスペックだけど、通常時なら左右格納庫で合計12機の機体が収納できる『エンタープライズ級』と言うクラスに属する大型戦艦です。サイズは700m程、エンタープライズ級では小さい方です。大きいものは1000m越えますからね。

アキト…凄いなー。

ヒリュウ…でかい。

GM…で、ここは左右あるうちの右側、右舷格納庫になります。今日のお祭り騒ぎにも関わらず、相変わらず整備班の間では怒号が飛び交っていますね。

整備班(GM)…「バッキヤロー！ 5番パイプそこに挿してんじゃねえよ！」

整備班(アキト)…「さーせん！ さーっせん！ 今持つてきます！」

エンタープライズ級

戦艦形態から人型形態へ変形可能な超々弩級ガーディアン
のクラス。

1000mを超えるものが大半で移動基地や他のガーディアン
の母艦として機能する。
類似するものとしては『超時
空要塞マクロス』等。

GM：ではそんな中、整備班主任の夕張さんがユディットさんのもとへ駆けつけてきますね。

夕張(GM)：「お、ユディット中尉！ あれですかい、学生さんの見学ですか？」
ユディット：「ええ、そうですね」

GM：「あー、それなら自分が案内しますよ」と言つてここにある機体の説明をしてくれますね。と言つうわけで軽く機体の説明をします……とは言つても、ここにある機体には幌がかかつていて顔とかの一部分しか見えない状態ですね。生徒からも「何だよー、全部見えねえじゃん」とか聞こえてきます。

メレク：「つんだよー！ 見えないじゃん！」

夕張(GM)：「うっせえな！ 機密とか厳守とかこつちにも色々あんだよバッキヤロー！」

ユディット：「し、主任、お静かに……あまり、その……！」

GM：はい。(笑) ではそう言いながらも各機体について説明をしてくれます。

まずは最初の1機、他の機体に比べても一回り大きな機体ですね。

夕張(GM)：「こいつはPFX-573-02、ギガント・ノヴァ。天城ロボット研究所つてわかるか？ あそこのスーパー級ガーディアンを模倣して作られた機体だ、まあ飽くまで技術検証用の機体だから武装とかは無いんだがな。こいつは2機あったウチの2号機で、1号機は前の大戦で吹っ飛ばしちゃった」

天城ロボット研究所

天才科学者天城博士が設立したガーディアン開発機関。数多くのスーパー級が開発されている模様。

スーパー級

ガーディアンの種別の一種。ワンオフ仕様の特別機で分厚い装甲と一点突破の火力が売り。
『マジンガーZ』とか『無敵ロボシリーズ』がこれに該当する。

GM..次、その横にあるのが四脚の機体ですが、これだけは幌がかかってませんね。あ、じゃあこれ出しちゃおうか。

——GM、後ろに隠していた何かを取り出し机の上に置く。パーツ組み換えてきるロボットのプラモデルで仮組みしたユディット搭乗機『月光・改』のイメージモデルである。

一同..おおー！

GM..では幌のかかってない機体の前に来た生徒たちが「うおー！」と声をあげますね。特に的場くんは目を輝かせながらシャツターを切りまくってます。

メレク..「的場お前カメラ叩き割んぞ」

ユディット..では私はそれを複雑な表情で見てる感じですかね。

夕張(GM)..「こいつはGX-77C、月光・改だ。こいつは**ディザスター級**って言うって、砲撃支援用の機体だ。元々は副座式だったんだが、今は単座式に改造されてる。因みにこいつのリンケージは、そこにいるユディット中尉だ」

GM..と言うと、生徒たちが再び「おおー」と声をあげます。

メレク..「おおー！」

ユディット..じゃあ、普通に軽くお辞儀をしますね。

ディザスター級

ガーディアンの種類の一つ。固定砲台のような長距離への広範囲火力が売り。いわゆる現実的な雰囲気を出した『リアルロボット』寄りだがガンダムとかポトムズに比べ、よりリアリティのある兵器寄り。強いて言えばゲーム『アーマードコア』に登場するロボットに近い。

GM..ふむ、寡黙な感じだね。

ユディット..か、寡黙になるしかないでしょ！ だってオープニングあれですよ？

GM..そ、そうだね。では、次の機体ですが、反対側のハンガーにある**カバリエ**級らしい機体ですね、これにも幌がかかっています。

夕張 (GM)..「こいつがStX・200/S、レヴィアタン・ヤークトだ。こいつは狙撃用のスナイパーライフルを装備した機体でな、普通なら通常兵装のカバリエ級を改造してスナイパー仕様にするんだが、こいつは最初っからスナイパー専用で作られた機体だ」

GM..続いてその隣、少し小柄な機体だ。

夕張 (GM)..「こいつがPFX・574、ストライク・アルゴールド。お前ら**レムリア王国**って知っているか？」

ヒリュウ..俺らは知ってることにしておいていいの？

GM..うん、普通に知ってますね。

夕張 (GM)..「この機体はその**ファンタズム**級って言うのを模倣して作った機体でな、擬似的に魔導システムを再現することに成功している。こいつは二次大戦ではそれなりに成果は上げたんだがな、今はリンケージがない状態で動かせねえ。……と、まあ、とりあえずこんなもんかあ」

カバリエ級

ガーディアンの種類の一つ。バランスの取れた汎用性の高い性能が売り。

ロボットアニメらしい『リアルロボット』な機体、いわゆる『ガンダム』が該当する。

レムリア王国

二次大戦中に異次元から地球に現れた魔法王国。

地球連邦、ラーフ帝国とは中立を保っているが密かにファンタズム級ガーディアンを有する騎士達をフォーチュンに送り込んでアピスの脅威に対抗している。

ファンタズム級

ガーディアンの種別の一種。高い機動性が売り。

魔法とロボットを融合させた一風変わった機体。『サイバスター』『ダンバイン』と言った有機的なデザインのロボットが多い。

ヒリュウ…あれ？ 5機いるんじゃないっけ？

GM…はい、説明をされてない機体がありますね。では、他の生徒たちもそのようなことを言うとか張主任は「え、あれの説明するの？」みたいな顔をしますね。

夕張(GM)…「あー、まあ、いいか。『あれ』なんだがなあ……一応、こちらはUX-01、フェンリル・αって呼んでる。ただなあ、こいつは戦時中に運ばれてはきたんだが、こいつの開発元が戦争で無くなっちゃまって起動用の資料すら無くてなあ、ずっと埃をかぶってたんだ」

GM…さて、そんなわけで一応は一通りの機体説明が終わったところで、艦内にアナウンスが流れるね。「間も無く防衛軍による新型機のお披露目を開始したいと思います」と言う風な感じだね。

ヒリュウ…お、じゃあ他のクラスはそれが終わった後になるのかな？

GM…そうだね。さて、ここでユディットさん以外の方は【意志】10で判定してください！

ユディット…え、何で私は除かれるんですし？

ヒリュウ…そりゃあ……もうあるからじゃない？(机の上に置かれた月光・改のモデルを指さして)

ヘルマン…【意志】10ね(コロコロ……)うわ！ あつぶねー、ギリギリ成功だ。

メレク…(コロコロ……) あたしもギリギリだ！ あぶねー。

アキト…うわあ (コロコロ……) 普通に成功です。

ヒリュウ…(コロコロ……) お、6・6、クリツた。

GM…ふむ、では【意志】に成功した全員はこの格納庫の中で『何か』に呼ばれたような気がした。で、えーと、クリティカルしたヒリュウさんは、それが先ほどレヴィアタン・ヤークトと呼ばれたものから発せられたような気がしますね。ヒリュウ…(チラツ、チラツ)」

GM…『何か』に呼ばれ、鈴の音が聞こえたような、そんな感覚はあったけどそれが何だったのかはわからないね。

アキト…ふーむ……。

GM…では、あなたたちは先程の艦内アナウンスを聞いてヒリュウさんも含めた上総第一高校の生徒たちを外に出しますね。そのタイミングで丁度後藤田司令がやってきます。

後藤田(GM)…「あー、ご苦労様、案内してくれたみたいだね」

ヒリュウ…寝癖は？

GM…うん、ちよつとちよろんと出てるかもしれないね。(笑) で、そこに部下を引き連れた扶桑司令が来ます。

6・6

今更だがメタリックガードイアンRPGでは6面タイスを使用する。

基本的に6・6がクリティカル、1・1がファンブルである。

扶桑(GM)：「本日は我が軍の最新兵器をお披露目する舞台を用意していただき感謝していますよ。何でもここは試験機の実験基地と言うことじゃないですか、これだけ広大な敷地をそのままにしておくのももったいないでしょう」

ヘルマン：面倒臭いジジイだ！

GM：扶桑司令の嫌味を後藤田さんがのらりくらりとかわしてる感じだね、最後に扶桑司令は「それでは、我々はあちらの席で観覧させていただきますよ」と言っ行ってしまいます。と言うことで、シーンを区切りますね。

▼ シーン 10 『強襲の黒い弾丸』

GM：はい、ではシーンプレイヤーは引き続き全員です。場所は格納庫前の広場、上総第一高校の学生たちを含め一般の人たちが観覧席から演習場を一望できるような場所にいる感じですね。演習場には純白の武士のような姿のガーディアンが3機駐留していて、拡声器から扶桑司令の声が聞こえてくる。

扶桑(GM)：「えー、これが我がイツモ防衛軍の最新型ガーディアン『ムサシマル・MkⅢ』であります。この機体は防衛軍の技術の粋を集め、生産コストの大幅カットにもほにゃららほにゃらら——」

GM..と言うことで皆さん【知覚】14で判定してください。

一同..(コロコロ……) 成功です。

GM..では成功した方は「あれガーディアンじゃなくてミールスじゃね?」と言うことに気付きます。見た目だけそれっぽく整えてるだけみたいですね。

メレク..あの……高校生にも見抜かれてるけど。

ヘルマン..そっか、メレクは高校生か……。 (笑)

アキト..高校生に見抜かれるってどんだけ!? (笑)

GM..さて、扶桑司令は引き続きほにやらアラレコレと説明を続けています。が、それを遮るように遠くからゴゴゴゴ……と地響きのような音が聞こえ、突如として巨大な物体が二つ、演習場に落下してきます。黒い姿に丸みを帯びたフォルム、そして大きな一つ目。それは、紛れも無くガーディアンであった。

扶桑 (GM)..「な、何だ? こんなのは予定に無いぞ!」

GM..続いて、飛んできたガーディアンから音声が聞こえます。

BC団 (GM)..「ヘッヘッヘ! 俺たちはブラック・クライシス団! 防衛軍の新型機とやらを貰い受けて来たぜえ!」

扶桑 (GM)..「何を馬鹿なことを! いい機会だ、新型機のパフォーマンスをその身をもって味わうがいい!」

ユディット..フラグ……。

GM..扶桑司令の号令でムサシマル・MkⅢ3機が起動し、謎のガーディアンと戦闘を開始しますね。会場は一転して大混乱に包まれます、さあみなさんはどう行動しますか？

アキト..「みなさん！ 落ち着いてください、落ち着いてくださいー！」って、一杯一杯な感じで。

一般人(GM)..「キャー！ キャー！ ワー！ ワー！ 助けてー！」と、ワタワタバタバタしてるね。

ヘルマン..じゃあ俺と一緒に避難誘導するかな、クリムゾンフォートの格納庫に避難させる感じで。

GM..では2人は【体力】14で判定してもらおうか、どちらかが成功したらオツケーです。

ヘルマン、アキト..(コロコロ……) 成功です！

GM..ではキミたちの的確な誘導のお陰で学生や市民をクリムゾンフォートの格納庫内へ避難させることができた。……が、メレクさん、あなたはこの戦闘の光景に過去の記憶がフラッシュバックして、立ちすくんでしまうね。

メレク..あー……ラーフ帝国に故郷を滅ぼされたって時の？

GM..そうだね、キミは避難に遅れ演習場に残されている。既にムサシマルは2機が撃破され火を噴いている、その光景に足が竦んでしまうね。

BC団(GM)：「へっへっへ！ 新型機って言うから奪いに来たのによ、この程度かよお！」

ヘルマン：本当だよ！

ヒリュウ：弱いよ！

アキト：ガツカリだよ！

GM：そして、残った1機も攻撃を受け、メレクさんの方へ吹き飛んでいきます！……しかし、あなたが押しつぶされることは無かった。巻き込まれそうになったメレクの前に現れたのは、巨大な機械の狼だった。

ユディット：動いたー！

GM：狼は巨大な咆哮を上げる。メレクさん、キミは一瞬にしてこの機体が何を言おうとしているのかわかるね。「——我ニ乗レ——」と聞こえてくる。

メレク：の、乗るしかない！

GM：では、キミは降り立った機械の狼——フェンリル・αに搭乗した！

——フェンリル・αのモデルを机の上に置く、変形機構も再現。

ヒリュウ：スゲー、よく頑張ったなあ！

メレク：格好良い！



ユディット…今までずっと格納庫で埃かぶってたんですよ？

GM…うん、少し視点を移すけど格納庫にいたフェンリル・αが急に動き出して、飛び出していったみたいだ。後藤田司令や整備班の人も驚いているね。

ヘルマン…あれだな!? まだ幌の切れ端とかまとつてる感じだな!?

ユディット…風に煽られてバサバサバサバサー！ っってなってるそう！

メレク…私からは最初は逆光でよく見えないとかね！

アキト…ゆっくりカメラが上にながっていったって全体が見えてくるんだね。(笑)

GM…で、そのタイミングで「ウオオオオオオオオン！」って咆哮が響くと。

メレク…そこでCM入るね！(笑)

ユディット…あ、じゃあその間にトイレ行ってきます！

ヘルマン…俺飲み物もらっていいかな!?

——一旦進行を止め、飲み物やお菓子の追加を始める一同。

GM…何か思いのほか盛り上がって頂けてるみたいだね。

メレク…いやー、めっちゃ盛り上がるなコレは！

ヘルマン…いやあ、ほら、『お約束』大好きだから。(笑)

ヒリュウ…テンプレって大事だよな。

お約束

王道とも言われるパターンのやつ。こう言う時は『展開が読めちゃう』などと斜に構えず真正面から受け止めるのだ。

GM.. いやあよかった。でもここからが本番だからね、ここまでは壮大な茶番だから！

ヘルマン.. いや、そういう意味では最初つから最後まで壮大な茶番だけだね。

GM.. そこにいかにもノッていただけるかというのがTRPGの**大事**なところ！

—— ブレイクタイム終了。

ヘルマン.. CM終わった？

GM.. メタリックガードイアン・パスファインダーズ……！（**CM**明けっほく）

ヒリュウ.. またフェンリル・αの遠吠え辺りから始まるんではよ？

ユディット.. 尺稼ぎだ……。 (笑)

GM.. はい、とやることでメレクさんの搭乗したフェンリル・αが敵のガードイアンと対峙している状態ですね。

BC団A (GM).. 「ああん？ なんだあ、また知らねえ機体が出てきたぞ？」

BC団B (GM).. 「構うこたあねえ！ こいつも無理矢理奪つちまえ！」

GM.. と、言うことで戦闘が始まるんですが……その前に一度格納庫に視点を移します。格納庫には現在、避難してきた市民や防衛軍の人たちがいますね。

ヘルマン.. 防衛軍は戦闘に参加しないのか？

大事どころ

折角やるなら全力で楽しまなければ損である。

CM明けっほく

タイトルロゴと一緒にメレクとフェンリル・αがスライドして出てくる感じのアレっほいソレ。みんなも脳内で補完しよう。

GM..彼らが今回兵装として持ってきたのはムサシマル・MkⅢだけなので、それが潰された今役立たずですね。さてヒリュウさん、避難した生徒の1人があなたに「せ、先生、メレクさんがいません!」と言つてきます。
ヒリュウ..「はああ!？」

GM..で、後藤田司令もこの格納庫にやってきていますね。

後藤田 (GM)..「んん、まずいことになったねえ。ユディット中尉、至急迎撃のために月光で発進してくれ」

ユディット..「はい、了解です」

GM..そのまま後藤田司令は近くの通信機を取ります。

後藤田 (GM)..「フェンリル・αに乗っている人、聞こえますか?」と、メレクさんへ通信を飛ばすね。

メレク..「聞こえます!」

ヘルマン..サクツと答えたね! (笑)

ヒリュウ..その声に気付いて通信機の方に行ける? モニターとか無いかな。

GM..あります、メレクさんが映ってますね。

ヒリュウ..「お前、そんなところで何してるんだ!？」

後藤田 (GM)..「……キミ、第一高校の生徒さん? そこで何やってるの!？」

メレク..「……何か、こいつが助けられくれました!」

後藤田 (GM)：「なるほど、リンケージとして覚醒したのか……ユディット中尉、至急だ、援護に向か
つてくれ」

ユディット：「わかりました、行きます」

GM：さて、ではここからチュートリアル戦闘を初
めます。

GM：キミたちと敵との位置関係はこんな感じだ。
説明しながら戦闘を進めて行くのでポッコボコにし
ちゃっていいよ。

ヒリュウ：チュートリアルだー！

GM：戦闘は複数のプロセスによって進行していき
ます。流れるにはまず『セットアッププロセス』が
行われ、行動の早い順に『メインプロセス』となり
ます。メインプロセスでは『ムーブアクション』『マ
イナーアクション』『メジャーアクション』の順に行
動を行い、これを全てのキャラで行います。で、最
後に『クリンナッププロセス』が入り1ラウンドと
なる感じです。

🎯 ブラッククライシス 団撃退戦 1

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
A									
B									
C									
D									
E									
F									

ヘルマン..ダブルクロスとはちょっとだけ違うんだな。

GM..それでは、続いて行動の順番ですが、最初にメレクさん、次に敵2機、最後にユディットさんが動きます。ではまず、セットアッププロセスで何かできる人はいいますか？

ユディット..セットアッププロセスでできるアクションはタイミングにセットアップつて書いてあるやつですよね？

GM..うん、みんなも今のうちに自分の機体がどんなことをできるのか確認しておいてね。因みにユディットさんはさっきも言った通り現在加護は使用不可、そして全ての判定に-1されるから気を付けてね。

ユディット..…了解です。とりあえずセットアップでやることは無さそうです。**メレク**..あたしも無いかな。

GM..ではセットアップは無し、**イニシアチブプロセス**に入ります……が、ここでもみんな特にやることは無いと思うのでそのままメレクさんのメインプロセスに入ります！

メレク..うーん、どう攻撃しようかな。

GM..因みにその敵は《**イベイジョン**》のエネミー特技により【回避】、【防壁】は14で固定になっています。

イニシアチブプロセス

本来はメインプロセスで行動するキャラを決める他、タイミングがイニシアチブプロセスのアクションを行ったりする。今回は誰もすることはないので割愛。

イベイジョン

主にザコ敵が所持している常時発動の特技。
リアクションの値がステータスより算出される固定値になる。

メレク..よし、とりあえず敵Aに中型ミサイルポッドで攻撃！（コロコロ……）
あ、合計12、足りない！

GM..では、フェンリル・αから発射されたミサイルは敵の足元に着弾する。
BC団A (GM)..「何だあ？ まだ動かし方がわかってねえみたいだな？ さつ
さと畳んじまおうぜ！」

GM..と言うわけでそのまま敵が動きまわすね。眼の部分から熱線を発射しメレク
さんに攻撃します。（コロコロ……）えーと14！ 射撃攻撃なので【回避】14
以上で回避成功です。

メレク..（コロコロ……）あー、ダメだ！

GM..やはりまだうまく動かせないようですね。ではダメージを（コロコロ……）
えーと、〈炎〉19点のダメージだ。

メレク..えーと、装甲の分を差し引いて……15点のダメージだ。尻尾が「きや
いーん」って感じで下がるな！

ユディット..可愛い。（笑）

GM..続いて敵B！ ハンマーを構えて突撃し、メレクさんに攻撃！（コロコロ
……）11だね。

メレク..2D6で5以上なら（コロコロ……）だ、ダメだった！《リトライ》を
使用して、ダイスを振り直します！

GM..む、では【HP】を減らしてから振り直しをどうぞ。

メレク..(コロコロ……) よし、成功!

BC団B (GM)..「かわした!? こいつ急に動きがよくなりやがった……!」

GM..ということ、お待たせしました、ユディットさんの行動です!

ユディット..えーとではムーブアクションで《砲撃姿勢》を取ります。「アンカーで機体を固定……!」これで【砲撃】の命中判定に+2されます。

GM..キミは現在判定値が-1されてるのでそれを打ち消して命中判定+1だね。

ユディット..そして《エイミング》の効果で常時命中判定+2されています。この状態で《マルチロック》を使用して、中型ミサイルポッドの攻撃範囲を増加しつつ攻撃します。

GM..では月光のマルチャーターゲッティングシステムが敵2機を捉えますね。

ユディット..1・1以外は命中ですね(コロコロ……) よし、命中です!

GM..ふむ、ではダメージロールどうぞ。

ユディット..(コロコロ……) 敵A、Bに〈炎〉29です! 「フェンリル・α、下がってください!」

ヒリュウ..強っ!?

GM..こちらは〈炎〉耐性が7なので22ダメージ……敵2機にミサイルの雨が降り注ぎますね。

砲撃姿勢

遠距離攻撃の命中判定を強化する特技。

この手の特技は演出自由なので狙撃態勢だったりモビードイックアンカーだったり狙撃体勢だったり好き放題できて楽しい。

BC団A (GM)：「な、何だ!? 何でこんなミサイルが……あ、あの四脚のガーディアン、まさか……イーヴン・リップパー!?」

ユディット：「黙れ……」 **黙れ小僧!**

GM：ミサイルの雨に打たれ、2機のガーディアンが炎に包まれ爆発する。と言うことで戦闘終了です、お疲れ様でしたー!

一同：わー(拍手)

メレク：すいません、ダイス目が奮わないんですが……。

ヒリュウ：ダイスを変えた方がいい。

GM：さて、格納庫にいる人達は今の戦いを見ていた人もいるでしょう。その中に扶桑司令や後藤田さんもいますね。

扶桑 (GM)：「馬鹿な、我が軍の新型が敵わなかった敵をこうもあつさりと!」

後藤田 (GM)：「フェンリル・α、戦時中は乗り手がいなかったので格納庫で埃を被ってたんですが……どうやら民間の人たちの中にリンケージ候補がいたようですね」

GM：そこにクリムゾンフォートのオペレーターから通信が入る。

オペレーター (GM)：「後藤田司令! こちらに向かう機影が更に複数……ガーディアンです!」

アキト：ガーディアン……増援かな?

黙れ小僧

お前にあの子が救えるか!

ダイスを変える

運命を委ねる相手は慎重に選んだ方がいい。

相性が悪いダイスと言うのが不思議と稀にある。

後藤田(GM)：「……格納庫に避難した民間人や防衛軍人の中に、リンケージの反応は？」

オペレーター(GM)：「それは……複数、反応があります」

後藤田(GM)：「そうか……ユディット中尉、それとそっちの狼型のガーディアンに乗ってる子、名前を覚えてもらってもいいかな？」

メレク：「メレクです、メレク・ミストリーです！」

後藤田(GM)：「メレクさん、ユディット中尉、どうやら敵さんの増援が来てるみたいなんだわ……こっちも増援を出すから、もう少し踏ん張ってくれないかな？」

メレク：「ちよ、ちよっと待って私さっきのダメージ結構大きいんだけど！」(笑)

ユディット：「じ、じゃあ私は「わかりました」と返送しますね。」

GM：「了解です、ではシーンを区切りましょう。」

シーン 11 『覚醒』

GM：「はい、と言うわけでシーンプレイヤーは先ほどの戦闘に出ていない方です！」

ヘルマン、ヒリュウ、アキト…はい。

GM…場所はクリムゾンフォート格納庫内、外での戦闘の音と地響きが届き民間人や防衛軍は不安そうな表情を浮かべている。

ユディット…あかん……。

GM…そこに拡声器から後藤田司令の声が響く。

後藤田(GM)…「どうも、基地司令の後藤田です、現在当基地は謎の敵からの襲撃を受けておりまして……」

アキト…言っちゃうんだ……。

後藤田(GM)…「当基地の機体は現在稼働ができません……ですが、みなさんの中にこの機体を操れる素質……『リンケージ』の素質を持つている方がいる可能性があります。リンケージである者はそれを感じることができると聞いています。ここにある機体を見て、何か思うところがある方がいれば、お願いです……名乗り出てはもらえないでしょうか？ 今、上総第一高校の女生徒さんがガーディアンに乗りここを守ってくれています。どうか、力を貸してください」

ヒリュウ…ではすぐに手を上げて名乗り出ます。
ユディット…先生！

ヘルマン…先生！

ヒリュウ…だって生徒が戦ってるのにねえ？

GM.. おおー、熱い！ 何よりあなたは正義を思考する人ですしね！
ユディット.. そ、そうか.....

後藤田(GM).. 「他にはいらっしやいませんか？」

ヘルマン.. ..

アキト.. .. (顔を見合わせる)

ヒリュウ.. 見合わせた。(笑)

一般人(GM).. ざわ... ざわざわ.....

一般人(ヒリュウ).. ざわざわ.....

一般人(ユディット).. ざわ... ざわ.....

ヘルマン.. ..

アキト.. ..

ヒリュウ.. **何か喋れよ!** (笑)

アキト.. どうする??

ヘルマン.. どうしようかなあ.....

アキト.. どっちから行く? 出ないって選択肢もあるけど?

ヘルマン.. いや、いやいや。(笑)

アキト.. (どつぞどつぞのポーズ)

ヘルマン.. いや、どつぞどつぞ??

何か喋れよ!

文章に書き起こし辛いんだ
よ!

アキト…いやいやいやどうぞどうぞ？

ヘルマン、アキト…どうどうどうえーい！

GM…じゃあそれぞれ出てくるってことでいいかな！

ヘルマン、アキト…はい。

後藤田（GM）…あなたは…第一高校の教師の方ですね？ 機体は…」

ヒリュウ…レヴィアタン・ヤークトを指さす。

後藤田（GM）…「レヴィアタン・ヤークト…狙撃用の機体ですね。射撃の経験

はありますか？」

GM…好きに設定していいよ。

ヒリュウ…うーん…」。

メレク…三角定規投げ。

ユディット…三角定規。（笑）

メレク…チヨーク投げの達人。

ヘルマン…百発百中だな。

ヒリュウ…チヨークかよ。（笑） まあ、普通にあつてもいいな、このキャラは。

GM…なるほど、ではこの機体はあなたにしっくり来るかもね。次は、アキトく

んだね、後藤田司令はガツとキミの肩を掴む。

後藤田(GM)：「おお、キミか！ よかったよかった！ 配置転換済ましておくから。あれね？ ストライク・アルゴールだね？ よし、こっちこっち、座って！」
アキト：「はい？ はい、いい!?」
ヒリュウ：軽い！（笑）

アキト：「え、えーい、もうどうにでもなれー！」

GM：では次、ヘルマンさんだ。

後藤田(GM)：「あなたでしたか……今は防衛軍だのフォーチュンだの言ってる場合では無いですからね、どうぞよろしくお願いします」

ヘルマン：「……わかりました」

後藤田(GM)：「では、あちらのギガント・ノヴァをお願いします」

ヘルマン：あ、扶桑司令ってさっき演習場で拡声器使ってたよね？

GM：ん？ うん、使ってたね？

ヘルマン：じゃあその拡声器、奪っていきます。通り過ぎざまにバツと！

GM：え？ ええ!? 扶桑司令は「お、お前何を!?」と言いますが……。

ヘルマン：そのまま無言でギガント・ノヴァに乗り込みます。

GM：お、オツケー。では、全員がコックピットに乗り込む辺りで視点を演習場の方へ移します。演習場には再びズーン、ズーン、ズーンと敵が降下してきます。

メレク：私結構ピンチなんですが……！

GM..ふむ、そうだな...では2D6振ってください、敵の増援が来るまでの間に整備班の人たちが突貫修理をしてくれたことにしましょう！

アキト..2D6に定評の無いメレクさん。

メレク..(コロコロ...)う、うーん、5！

ヘルマン..ま、まあまあ、まあまあだ！

夕張(GM)..「嬢ちゃん！ 応急処置で悪いが、よろしく頼んだぜ！」

ヘルマン..一発耐えられるか耐えられないかくらいか.....！

GM..で、その修理が終わったタイミングでさっきの増援が現れる感じだね。その中でも一回り大きい複数のミサイルポッドを装備した機体から音声が響く。

ヘルマン..中ボスか？

?(GM)..「あつらく、遅いからきてみれば、なあんて体たらくなの〜ん？ ボスに報告できないじゃなあ〜い」

GM..:...男の声です！

アキト..オカマ系.....！

メレク..勝たなきゃいけない気がした。

ヘルマン..何か毎度こういうタイミングで戦うことになるような気がする。

ヒリュウ..殺そう。

ユディット..殺しても死なない気がする。

アキト..また後になって出てくる気がする。

ユディット..最後の最後に良いこと言ってくれそうな気がする。

GM..敵の数はとりあえずこれくらいかなー、一杯引き連れて来たね。

ヘルマン..オカマが一杯引き連れてきた。

アキト..カマイ達の夜。

中ボス(GM)..「あらあゝん？ 防衛軍の雑魚ミールレスなんかより、随分良さそうな獲物があるわねえ？ 野郎ども、ブラック・クライシス団の名誉にかけてたんじまいな！」

BC団(GM)..「ヒヤッハー！ ガーディアンいただきだぜ！」

GM..と、言う感じで襲いかかってきます……さて、戦闘に参加してないお三方！
まずは起動できたかを【意志】14でどうぞ！

ヒリュウ..【意志】14!? (コロコロ……) せ、成功！

アキト..(コロコロ……) 成功です！

ヘルマン..(コロコロ……) ……クリティカル！（ガッツポーズ）

ユディット..おぉー！

GM..おぉ！ では、それぞれの起動描写を入れます。まずはヒリュウさん、今あなたの前にはモニター等がウィーンと起動をしている最中ですね。そこに整備班の夕張さんから通信が入ります。

夕張(GM)：「いいかニイチヤン？ レヴィアタン・ヤークトは狙撃戦用の機体だ、接近戦はからつきしだから前衛は他の連中に任せた方がいいぜ！」

ヒリュウ：「ええ、わかりました」

GM：で、レヴィアタン・ヤークトの起動時なんだけど、モニターのところにも『La Forest Industry』と表示されるね。

ヒリュウ：父親の会社の名前だね？ ……じゃあ、ムカつとした表情を浮かべてから夕張さんに「…すみません、この機体のこと後で詳しく教えてください」って言います。

夕張(GM)：「お、おう、わかった！ まあ、今はとにかく無事に帰ってくることをだけを考える！」

GM：では次がアキトくんだ。

夕張(GM)：「おう新入り！ その機体は空が飛べる、その持ち味を存分に活かせ！ 前の搭乗者はそりゃあ綺麗に宙を舞ったもんだ、頼んだぜ！」

アキト：「はい、わかりました！ できるだけのことはやってみます！」

夕張(GM)：「上手くいったら、良いーい店連れてってやるよ！」

アキト：「…き、期待してます！」

メレク：すっげえガクガク震えてそう。(笑)

GM：では次、ヘルマンさんだ。

夕張(GM)：「防衛軍のニイチャン、そのギガント・ノヴァは接近戦しかできねえ。だが、それしかできねえってことはそれに関して右に出るものはいねえってことだ、頑張ってくれよ！」

ヘルマン：「……任せろ！」

GM：それでは**発進シークエンス**です、それぞれ『どういう風に発進したか』演出をどうぞ！

ヒリュウ：ど、どういう風に!?

ヘルマン：今機体はハンガーにあるんだよな？

GM：そうだね、全機ハンガーに固定されてる状態だ。

ヘルマン：じゃあその固定してる部分をバキバキヤ！ つとへし折って発進！

夕張(GM)：「うわー！ ハンガーが！」

アキト：えええ……。 (笑) 俺は普通に発進でいいかな。

GM：では次、先生！

ヒリュウ：カバリエって形状的にはガンダムとかっぽい感じなんだよね？

GM：そうだね、じゃあ出しますか！

——他の機体モデルを机の上に取り出す。

発進シークエンス。

発進に至るまでの流れ。ガンダムで言うところの『アムロ、行きまーす！』のアレ。

アキト…ゴツイ!

ヘルマン…おおお、足のコレ、格好良いね! (脚部に付いてるランドスピナー的なものをいじりながら)

GM…で、これがストライク・アルゴールとレヴィアタン・ヤークト。

ヒリュウ…おおー、なるほど、じゃあやつば普通に発進かなー。

GM…了解です、ではクリティカルしたヘルマンさんは少し敵に近い位置に初期配置していいよ。飛び出してからブースターを噴かしてズズン! と上手く着地した感じだ。

ユティット…凄い……!!

メレク…やつばスーパージは違う……!!

中ボス(GM)…「あら次から次によく出てくるわねえん! ぜんぶ頂いちゃうわ!」

GM…と言うわけで第1ラウンド、ミドルフェイズ戦闘本番ですね、再開します!

アキト…よーしやるぞー!

● ブラックライシス団撃退戦2

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
A									
B									
C	 R ヤークト	 G ヘルマン		 BC 白ボ A					
D				 BC 白ボ B			 チュボニスライバー		
E	 月光改	 S アルゴール		 BC 白ボ C					
F		 F メンパル		 BC 白ボ D					
				 BC 白ボ E					

GM…行動順はアキトさん、次にメレクさんとヒリュウさんが同値、次に雑魚が全員動いて、ボス、ヘルマンさん、ユディットさんの順番です。まずセットアッププロセスで何かやる方は？

アキト…特に無いかな。

ヘルマン…あ、俺ちよつと……『対話』をしてもいいかな？

GM…え？あ、はい、どうぞ？

ヘルマン…じゃあまずコックピットを開けます。

一同…ええ!? (笑)

ヘルマン…で、さつき扶桑司令から奪った拡声器を取り出し「諸君らが行っているのは紛れも無いテロ行為である！ ただちに武器を捨てて、投降したまえ！」

GM………では敵はお互いを見合わせて腹を抱えて笑うような動作をしますね。

ヘルマン…「なるほど……それが諸君らの答えだと言おうのなら仕方があるまい」と言つてコックピットに戻ります。肉体言語での対話を試みるしかないな！

GM…よろしい。(笑) ではイニシアチブプロセスで誰か行動しますか？

アキト…はい、では《優しき手》を使用してメレクさんのフェンリル・αの【F P】を回復します。(ココココ……) 全部で20回復で！

GM…では、ストライクアルゴルの排熱口から**AL粒子**が散布されます。それによりフェンリル・αのALTIMA装甲が反応し、自己修復を開始します。

ランドスピナー

「装甲騎兵ボトムズ」や「ロードギアス」に出てくるロボットの脚部に装着されているタイヤ状のパーツ。

これを使つて地面を滑るように走る描写がカッコ良い。

【FP】

『力場値』と呼ばれるステータス。

ガーディアン耐久力を表し、これが0になるとブレイク状態(後述)となる。

因みによくRPGでキャラの体力として使われる【HP】はこのゲームでは特技の代償として使用する。気合いで技を出しているのだ。(多分)

AL粒子

ALTIMAに反応する色々凄まじい粒子。

大体のことはAL粒子の影響で説明が付く。

メレク…おおー、凄い回復するね、ありがとう！

GM…ではそのままアキトさんのメインプロセスどうぞ！

アキト…どれから潰しに行く？

ヘルマン…俺は目の前のやつかな、B、C辺り。

ヒリュウ…俺は射程長いからどれ狙ってもいいよ。

ユディット…密集してるとこに範囲攻撃したいから私もC狙い…あ、でも動いちゃうかな。

アキト…じゃあとりあえずCに接敵してファンタズムソードで攻撃します。(コロコロ……) はい、成功です！

GM…ではキミのファンタズムソードを**模した**57式特殊高周波ブレードが敵に深々と命中する！ダメージロールどうぞ！

アキト…(コロコロ……) 27の〈斬〉ダメージです！

GM…では装甲を引いて20のダメージが入る、敵機の片腕を斬り飛ばした！

次のメレクさんとヒリュウさんは【行動値】が同値なので好きな方からどうぞ。

ヒリュウ…それじゃあ、とりあえずメレクさんからどうぞ。

メレク…んー、C中に中型ミサイルポッドで攻撃しようかな……今日は右手が不調だから左手でダイス振ろう。(コロコロ……) えええ!? し、失敗だ。

GM…ロックする前に撃っちゃったかな、ミサイルが明後日の方向へ飛んで行く。

模した

イメージにピッタリ合う武器が無かった場合は、近しい武器を『代替品』的な演出で使うと表現が広がるかもしれない。

アキト…女子高生！

ヒリュウ…うーん、じゃあこっちでC削りに行くか。どれくらいで落ちると思う？
ヘルマン…：…【FP】が全部で30前後として、装甲含めると後20ダメージ
与えれば安牌つてところだな。

ヒリュウ…シールドミサイルは〈炎〉6の威力しか無いんだよな、【HP】結構
使えばもうちよつとダメージ上げられるけど。

ユディット…【HP】の回復つてどのタイミングでされるんですか？

GM…**本来**はシーンに出てないキャラは2D6回復なんだけど、大抵シーン回し
てる内に回復しちゃうからシーンのミドルからの連戦じゃない限り戦闘終了
時に回復でいいよ。

ヒリュウ…あ、そうなの？ じゃあ乗せちゃおうか。まず《機体安定》で移動後
にシールドミサイルが使えるようにして《位置取り》《位置取りII》を使います、
これでダメージに1D6追加だ。まずは命中判定（コロコロ…）成功！

GM…では機体安定により完璧な射線を確認しましたね、続いてダメージロール
どうぞ。

ヒリュウ…（コロコロ…）えーと、合計は〈炎〉18だね。

GM…では装甲を差し引いて11のダメージ、シールドに搭載されたマイクロミ
サイルが敵Cに一齐に襲いかかる！

本来は

ルルフに従うのも大事だけ
ど、進行をスムーズにするため
のハウスルールも時には大事。

ヘルマン…作画陣が死んだぞー!

GM…バチバチとスパークしているけどまだギリギリ生きてるね、では次は敵の雑魚から動く。AとBは「ヒヤッハー!」とか言いながらヘルマンさんへ接敵して攻撃してくるね。

ユディット…死亡フラグだこのヒヤッハー……。

GM…ではまずAの攻撃、ハンマーで殴りかかってくるね(コロコロ……)うわ低、11だね。

ヘルマン…【回避】は4だから7以上で成功かあ(コロコロ……)お、避けた。

GM…「まあまだまだー!」後ろから来たBが続けて攻撃だ!(コロコロ……)ふあ!? ファンブル!? ……こ、コケたね!

アキト…これは酷い。(笑)

GM…ま、まだまだ、まだ終わらんぞ! 次はCがアキトくんを攻撃する!(コロコロ……) 14!

アキト…【回避】? 10だよ。(コロコロ……) はい、避けたよ。

ヘルマン…【回避】高いな!?

GM…畜生! 降りてきやがれ!」とハンマーをブンブン振り回してるね……。
メレク…何かやってる。(笑)

作画陣が死ぬミサイル

いわゆる板野サーカス『超時空要塞マクロス』等でよくあるめっちゃ動くミサイルの描写のこと。

降りてきやがれ

ストライク・アルゴールは飛行状態と言う特殊効果を持っているが、別に白兵戦の対象にならないわけではない。でも当たらない。

GM..では次にDが「バカヤロー、接近戦なんか当たるわけねえだろ！」と言いながらアキトくんにはビームを撃ちますね。(コロコロ……) 13！ あ、当たらないなコレは。

アキト..(コロコロ……) はい、避けました。

GM..く、くそう……。

ヘルマン..凄いなあ、避けそうな見た目してるもんなあ。

メレク..軽やかに動いてそう。

GM..ぐ、ちよ、ちよつと待って、ちよつと待ってね？

ユディット..GMが予想以上に焦ってる。(笑)

GM..え、えーと……。「こんのおお！」と、ヤケ気味に最後のEもブースターを噴かしてアキトくんに殴りかかるぞ！(コロコロ……) お、良い数字出たぞ！
17、どうだ！

ヘルマン..お、つと……これはちよつと……。

アキト..厳しいんじゃないかなあ？(コロコロ……) あ。

ヘルマン..はい避けた！(笑)

メレク..凄い！(笑)

GM..ま、マジかつ！ で、では続いて「ああんたたち、何やってんのよう！」とボスが動くね、因みにこいつの名前は『チュボース・クライバー』、ディザスター級だね。

ユディット..ほほう。

GM..えーと……（戦闘の盤面を確認しながら）お、届くなあ。では、こいつの背中に付いている大型キャノン砲が火を噴くね、曲射砲だ！ ヒリュウさん以外を巻き込んだの範囲攻撃！

ヘルマン..だ、だよなー！

GM..さあ、命中は（コロコロ……） 20！

ヘルマン..ぼ、【防壁】は3しか！

ユディット..私も3だ……。

メレク..7……つてことはクリティカルじゃないと駄目だ。

ヒリュウ..うーん、《アブストラクション》で達成値を下げたり《プロウビート》で振り直しさせてもあんまり意味無さそうだね。

ヘルマン..それだったらクリティカル狙ってやるわ。（コロコロ……）はい、駄目だった。

ユディット..（コロコロ……）駄目ですなー。

メレク..（コロコロ……）足りないなー。

クリティカル狙ってやるわ

どうせ出ない。でも出たら出たで美味しいし、とりあえず強気に言うだけ言ってからダイスロールするわ、の意。

アキト…二撃で確殺つてことは無いと思いたいんだけど。(コロコロ……)はい、俺は成功。やっぱ軽量型は避けるなあ。

GM…はい、ではダメージですが(コロコロ……) 1・1だと!? ダメージは
〈殴〉23……くそう!

ヘルマン…装甲引いて俺は11ダメージだな。

ユディット…えーと、私は8ダメージですね。

アキト…2人共堅いな!?

GM…そりゃあスーパー級とディザスター級はね……メレクさんは?

メレク…折角の回復してもらった分が吹き飛んだー!

中ボス(GM)…ハァーハッハァ! これがチュボース・クライバーの威力よお!

ヘルマン…(ダメージ処理中)……うん、まだまだ余裕だ!

GM…チクショウ!……では次はヘルマンさんの行動です!

ヘルマン…ま、俺は殴るしかないよね。つてことでAに《ハードナックル》と《ヘビーストライク》を使ってダメージ増しつつ、ナックルで殴りかかります。(コロコロ……)命中! では更に《アタックブースター》を使用してダメージ増加、で……つまり、えーと、6D6か。

アキト…6D6!?

ユディット…エルボーロケット。(笑)

6D6

まだまだ序ノ口。

エルボーロケット

映画『パシフィック・リム』より、登場するロボットの必殺技。
いわゆるロケットパンチ。

ヘルマン：（コロコロ……）えーと、39の〈殴〉！

GM：〈殴〉装甲が9だから……30ダメージだ、描写をどうぞ！

ヘルマン：腕に付いたパイルバンカー的な装備が火を噴いて、敵を貫く！「へびイイイツ！ ストライイイイイ！」

GM：では敵の頭部が吹き飛んだかな！ まだフラフラしているが倒してはいないね、後一撃つてところだろうか。

ユディット：たかがメインカメラをやられただけ……じゃ済まない。（笑）

BC団（GM）：「ひ、ヒイイ、何だあの威力!？」と言うことでお待ちしましたユディットさんの行動です。

メレク：ユディットさんやっちゃってください！

ユディット：うーん、威力を重視して中型ミサイルポッドでAとBを狙いましょう。（コロコロ……）うん、成功です。

GM：ではヘルマンさんの近辺にいる敵にミサイルの雨が降り注ぐ！

ユディット：えーと、ダメージは（コロコロ……）えええ!? 1・1だ！ ……〈炎〉23ですね。

GM：それでもその威力か……Aの方は直撃を受けて行動不能になりますね、Bはまだ動けそうだね。

ヘルマン：1・1でもかなり威力あるなあ。

描写をどうぞ

良い感じのダメージやカッコ良い攻撃シーンはやっぱ凝った演出をしたいし、GM的にもしてほしい。

ヒリュウ..月光・改は素の補正がかなり高いからだね……あれ？

GM..はい、と言うことでラウンドが終了し、第2ラウンドに入ります。セットアッププロセスで何かする人はいますか？

ヒリュウ..GM、ちよつといい？（キャラシを見せながら）ここの武器の威力補正入ってないんだけど、ここっでどう計算されるの？

GM..……さつき攻撃したのCだっけ？ ……うん、Cは後からダメージが来たのか突然爆発して虫の息だね！ ゴメンね、**記入漏れ**だった！ 6点ダメージ増やしておく！

ヒリュウ..道理で攻撃力低いなと思ってた！（笑）

GM..すまんね！ では改めて第2ラウンドに入ります、イニシアチブでやることが無ければそのままアキトさんの行動です！

アキト..ボロボロのCを潰すか、Eを削るか……どうしようかな。

メレク..Eが削れば私の中型ミサイルでまとめて攻撃して倒せるかも？

ヘルマン..ミサイル……当たったことあったっけ？

メレク..あ、当たれば倒せるかも。

アキト..じゃあ、Eに向かって《ツインアームズ》を使ってファンタズムソードと副武装のショットガンを構えます！

ヒリュウ..**ガンIIカタ**が始まる……！

記入漏れ

今回は半クイックスタートとして初期武装、特技はGMがバランスを考慮して設定と記入をしていた。

GMも人間なのでミスくらいする時もある。笑って受け入れよう。

ガンIIカタ

映画『リベリオン』に登場する架空の格闘術。

銃と格闘技の融合技みたいなもの。

アキト..更に《オーラ斬り》を追加してダメージを増加！「当たれえええ！」（コロコロ……）はい、成功ですね！

GM..では、ダメージどうぞ！

アキト..（コロコロ……）えーと、合計 34！しかも《オーラ斬り》の効果で属性は〈光〉です！

ヘルマン..すげえ、**オーラショット**だ。

アキト..《オーラ斬り》で装甲を切り裂いたところにショットガンを撃ち込む感じがな。

ヒリュウ..これは倒したんじゃないか？

GM..〈光〉は装甲無いんだよなあ……でもまだギリギリ生きてるぞ。次はメレクさんの行動です。

ユディット..メレクさんのミサイルが……当たれば！

メレク..ゴメン！先に謝っておく！（狙いはCとE）（コロコロ……）うあああああ！《リトラライ》使う！

GM..はい。（笑）では【HP】を減少させてからもう一度振ってください。

メレク..（コロコロ……）お？お……15！ピツタリ！

一同..おお！

メレク..（コロコロ……）属性〈炎〉で22のダメージです！

オーラショット

ファンタズム級の元ネタでもある『聖戦士ダンバイン』に登場する武装の一つ。尚、オーラ斬りも元ネタはダンバインである。

ヒリュウ…流石に落ちると思うんだけど……。

GM…では、今度こそキミのミサイルは正確に敵をロックオンし、発射される！
直撃を受けたCとEはそのまま沈黙した！

ユディット…おおー、やりましたね！

中ボス(GM)…「キイイ！ 何やってんのよ全く！」と言うボスの声が聞こえます。

メレク…オカマ大激怒。(笑)

GM…はい、と言うことで次はヒリュウさん！

ヒリュウ…ヘルマンさん、B倒した方がいい？

ヘルマン…やってくれば俺は全力でボスを殴りに行けるな。

ヒリュウ…では、ビームスナイパーライフルでBを攻撃します。(コロコロ……)

成功、ダメージロール行くね。(コロコロ……) 26の〈光〉です。

GM…また〈光〉か！ではヘルマンさんの機体に対して飛びかかった敵を遠距離からのビームが撃ち抜く！と言うことで撃破しました。

メレク…おおー、カッコいいー！

GM…ば、馬鹿な………たった2ラウンドで4機の機体が！で、では残ったDが
近くにいたアキトくんに殴りかかる！(コロコロ……) 18、どうだ！

アキト…18か、ちよつと厳しいな(コロコロ……)

ヘルマン…：…避けた。(笑)

BC団(GM)…：チクシヨ、あの蚊トンボ野郎が！(ブンブン)「ユディット…凄い…。(笑)」

GM…さて、続いてボスの行動です。次弾装填、メレク、ヘルマン、ユディットを狙つてもう一度曲射砲を発射する！(コロコロ…：) 20！
ヒリュウ…振り直し…：はさせても意味無さそうだね。

ヘルマン…仕方ない、このまま喰らおう。

GM…ではダメージロール(コロコロ…：)〈殴〉の27だ！

アキト…痛いなあ…。

メレク…あ…：私ブレイクだ。

GM…ふむ、ではキミたちの中心で放たれた榴弾が爆発し、そのダメージでフェンリル・αは機能を停止してしまうね。

ユディット…でゅーん(機能停止のSE)。

メレク…多分、中では何が起こつてるかわかんない状態になつてるね、過去の戦火の恐怖が思い浮かぶかも。「え？何これ何これ!？」

GM…では、その不安に呼応するように、フェンリル・αの各所からAL粒子が大量放出され、ダウンしていた機体が再起動し咆哮を上げる。

ユディット…まさか、暴走!?

ブレイク

ガーディアンの耐久値である「FP」が一度0になるとブレイク状態となる。

ブレイク状態になると一度だけ「FP」が少し回復し、一部を除いた特技が代償無しで使い放題になる。

ただし、ブレイク状態になるとそれ以上の「FP」回復はできず、もう一度「FP」が0になると今度は機体が爆散してしまふ。

暴走く食つてる!?

『新世紀エヴァンゲリオン』の暴走シーンのパロ。オカマは食べない。

ヘルマン…オオオオ……ン！（高音）

ユディット…オカマを……食ってる！

GM…ではメレクさんはブレイク状態となりました。【FP】を【意志】基本値まで回復させてください。

アキト…これ、ブレイク状態で更に倒されたら……あれだよな？

GM…うん。

アキト…あれですよね！

GM…うん！

メレク…ブレイクしたフェンリル・αに同調して「グルルル……」みたいな状態になってそう。

GM…榴弾の煙が晴れたところでフェンリル・αを見て中ボスが驚くね。「何なのあの禍々しいオーラは!? ち、近寄らないで！」

ユディット…オカマがビビったぞ、今だー！

メレク…そろそろ合体も試してみたいなー。

ヒリュウ…位置的にも丁度いいのはユディットさんかな？

GM…では続いてヘルマンさんの行動です！

ヘルマン…《アサルトチャージ》を使用します。脚部に搭載されたローラー走行で全力移動し、そのままボスに接敵！

あれ

前述の通り、ブレイク状態で【FP】0になると爆散である。

つまり、ここからが本番。

ユディット：あ！ 待つてください、**私が先に**攻撃を当てて《チェーンアタック》を使えばヘルマンさんの攻撃に2D乗るようになりますよ。

ヘルマン：あ、本当に？ じゃあそうしようか。《アサルトチャージ》を起動しつつ待機します。

GM：エンジン音が唸ってそうだ……ではユディットさん、先に行動どうぞ。

ユディット：では……《ロングレンジブラスト》を使用するとルールキャノンの射程が6まで伸びるので、ボスに届きます。

ヘルマン：そんなに伸びるんだ!?

アキト：これで全盛期の半分の性能……。

GM：因みに中ボスは回避値固定じゃないからね、回避のダイス振るぞ！

ユディット：ま、マジですかあ……えーと、《エイミング》の効果含めて【砲撃】は16です。

GM：（苦笑）……ど、どうぞ、振って下さい？

ユディット：では、砲撃準備に入り、攻撃します！（コロコロ……）20です。

GM：……クリティカルじゃないと避けられないな。（コロコロ……）はい、駄目だね！ 相手は曲射、キミは直射だ！

ユディット：（コロコロ……）〈殴〉29ですわね。

ヒリュウ：でも装甲硬そうだな、10以上は減らされそう。

私が先に

PLは待機を宣言することで行動順を一番最後に遅らせることが可能。

GM..装甲差し引いて……17点のダメージですね。「ふふん、蚊でも刺したのかしらあん!？」

ユディット..「いや——甘いな、脚を狙った!」と言うことで《チェインアタック》でヘルマンさんを指定します! これでヘルマンさんが中ボスに攻撃する際ダメージのダイスが+2D増えます!

中ボス(GM)..「な、なんですって!？」

GM..では敵の機体がガクン、と傾く!

ユディット..「軌道を確保しました、やってください」とヘルマンさんに通信を入れます。

ヒリュウ..流石プロだ……!!

ユディット..ただね、今結構やばいんだ、【HP】1なんだ。(笑)

ヘルマン..顔色一つ変えないで冷や汗をかいている。(笑)

GM..元々2人乗りの機体を1人で動かしている状態だからね、かなり無理をしているかもしれない。

ユディット..誰に言うでもなく「4度目じゃない……4度目じゃない……!」と呟く。(笑)

メレク..アニメだったら顔から下半分だけ写ってるカットで。

GM..これ精神的なヤツだな……では、行動を遅らせたヘルマンさん、どうぞ!

アニメだったら

TRPGあるある例え話。
他にも『ゲームならこんな演出』『映画ならこんなカメラ回し』『漫画だったらこういうコマ割り』がある。

ヘルマン…では改めて《アサルトチャージ》で全力移動、中ボスに接近！《ハドナツクル》《ヘビーストライク》を使います。

メレク…スーパー級キター！

ヘルマン…では命中判定します！(コロコロ……) 19！

GM…回避！(コロコロ……)だ、駄目だ。

ヘルマン…では！更に《アタックブースター》を使って攻撃！《パニッシャー》の常時特技で《中ボス属性》を持っている敵に対してダメージが+2D！ユデ

イットさんの《チェインアタック》で更に+2D！

ヒリュウ…何個になるんだよ……。

ヘルマン… 10D6！(コロコロ……) 武器威力と合計で……〈殴〉 58！

ユデイット…楽しいコレ……。 (笑)

ヒリュウ…態勢を崩したオカマに一撃が……。

ヘルマン…「最早言葉はいるまい！」ローラー走行で走った勢いそのまま真正面からブン殴る！

GM…では中ボスはその攻撃を受け……そのまま動かない！「……中々やあああるじゃない!?」足の部分からスパイクが出てそれを地面に突き刺して受け止めていますね。

アキト…おおお……！

10D6
楽しくなってきた。

ユディット…マジかあ……。

メレク…今総ダメージでオカマどれくらい痛めつけられてる？

GM…うん、喰らった部分は流石にかなりダメージを受けているけど、まだまだ動けますね。

ヒリュウ…流石にボスクラスは違うな。

GM…はい、と言うことで第3ラウンドに入ります！ セットアップでやること
が無ければアキトさんの行動です。

アキト…はい！ ではDは**無視**します！

GM…ちよ……。

ユディット…無視した。(笑)

ヘルマン…あ、そうか飛んでるのか！

BC団(GM)…「おい待てー！」

アキト…待ちません。もう容赦いらぬいよね、ボスに向かって《ツインアームズ》
《オーラ斬り》を使って攻撃します。(コロコロ……) 15、ちよつと低いな。

GM…(コロコロ……) よし、回避成功！ 敵はアキトさんの攻撃をギリギリま
で引き付け、避ける！

アキト…「な、何だと!？」

GM…さて、次はヒリュウさんの行動です、どうぞ。

無視

本来なら接敵状態になつてい
る敵は倒すか攻撃等を放棄し
て全力移動しないと逃げられ
ないが、飛行状態の場合はこれ
を無視して移動できる。

メレク..ねえ、そろそろ合体を試してみたい。

ヒリュウ..同じスクエアにいないとできないんだよね、俺がこのラウンドでメレクのところに移動して、メレクのイニシアチブプロセスで《ユナイトガーディアン》を使って合体する感じかな。

ヘルマン..このラウンドでやるならそれしかないね。

GM..お、合体やっちゃう？ やっちゃう？

ヒリュウ..じゃあまずはブレイクしたメレクを心配して駆け寄る感じにしようか。
「大丈夫か!？」

メレク..じゃあそのままあたしのイニシアチブで《ユナイトガーディアン》を使います！

GM..ふむ、ではヒリュウさんが近づいた瞬間、フェンリル・ α のモニターに『INVADE SYSTEM』と言う文字が浮かび上がりますね。

メレク..「!？」

GM..同時にフェンリル・ α の装甲の合間から銀色の液体がドロリと溢れる。

そしてそれがヒリュウさんのレヴィアタン・ヤークトを取り込みます！

ユディット..先生を...食ってる!?

アキト..食ってる。(笑)

GM..そのままフェンリル・αの装甲がレヴィアタン・ヤークトの追加装甲のようにつつき、銀色の液体がスナイパーライフルに集約されていきます。と言うことでメレクさんのフェンリル・αはヒリュウさんのレヴィアタン・ヤークトと『合体』しました！

アキト..おお……合体だ。

GM..で、リアクションとかの判定をするメイン機体を決めるんだけど、現在レヴィアタン・ヤークトは操作系を完全に奪われてしまっています。

メレク..つてことは、ダイスが奮わないあたしがメインか。

GM..さて合体したことで合体時専用の特技である『**ユナイトアームズ**』が発動、合体武装であるユナイトブラスターが使用可能になります。

アキト..スナイパーライフルがそれになった感じか。

GM..この武器は合体した状態でのみ使用できる長距離ビームライフルです。この武器は直線6マスの範囲（選択）を対象とすることができます。威力は〈光〉

+10です。

ヒリュウ..うわー、**MAP兵器**じゃん。

GM..では、このままメレクさんのメインプロセスに入ります、えーと……合体した状態の名前は どうする？

アキト..レヴィアタン・Fαとか？

『ユナイトアームズ』

本来は取得時に合体武器のどれかひとつを選択することになっっているが、当セッションではハウスルールとして合体する機体により合体武器が変化することになっています。

理由はその方が楽しいから。

MAP兵器

『スーパードボット大戦』とか『Gジェネレーション』等のSRPGで使われる広範囲攻撃の総称。

ヒリュウ…フェンリル(F)・ α でF α か、じゃあそれで行こうか。

GM…了解です、レヴィアタン・F α ね。では格納庫では整備班の人や後藤田司令たちがその合体の様子を見ていますね。

格納庫内(ヒリュウ)…ざわ…ざわ…。

夕張(GM)…「あいつ、やっぱり合体タイプのユニオン級だったか……！」

GM…どうやら整備班ではフェンリル・ α の駆動系には液体金属が用いられており、融合合体の機構が存在するのではないかと考察されていたようです。

後藤田(GM)…「これは、新しい『希望』になるかもしれないねえ」

GM…とやうことでメレクさん、行動をどうぞ！

メレク…とは言っても、この位置じゃユナイトブラスターは範囲外だね。

ヒリュウ…攻撃範囲を考えて合体するべきだったなあ、普通にビームスナイパーライフルを撃つなら届くね、ボスを狙う？

メレク…じゃあそれで行きましょう！（コロコロ……）お、高い！ 17です！

GM…ふむ（コロコロ……）回避失敗、命中ですね。融合によって腕とほぼ一体化した長身のライフルが敵を捉えるね。

ユディット…こ、コブラ……！！

ヘルマン…心で撃つのよ……！！

ユディット…ヒューー！！

コブラ

漫画『コブラ』の主人公。

左腕がサイコガンと言う武器と二体になっている。

ヒューー！！

見るよやつの筋肉を……まるで鋼みてえだ！

アキト..じゃあこのタイミングで《チェイスアタック》を使おう。ダメージロールに+2Dだ。射撃に合わせて上空から斬りかかる！

メレク..おお！ ありがとう！（コロコロ……）んんーあんまりよくない……28の〈光〉です。

アキト..そろそろ落ちてくれ……！

GM..ふっふっふ、しかしコイツには〈光〉に対して装甲があるのだ！ その分を差し引いて22のダメージだね。まだ動けるぞ！

ヘルマン..でも流石に〈光〉に対しては装甲薄めか。

GM..さて雑魚Dの行動……ええい何としても一矢報いる、ヘルマンさんに《剛打》をしようして攻撃だ！ 当たればダメージに+1D追加！（コロコロ……）
13！

ヘルマン..ふむ（コロコロ……）うん、無理！

GM..よっし！ ではここで中ボスの特技《攻撃補助》を使用！ 更にダメージ+1Dだ！

ユディット..やっぱオカマは味方思ってたんだ……。

GM..行くぞ、少しくらいダメージ与えてやる！（コロコロ……）〈殴〉26！
アキト..では《積層バリア》を使用して受けるダメージを減少させます。

GM..うああああ！? コイツううう！

メレク…トランプカード発動！（笑）

ユディット…聖なるバリアミラーフォースだ！（笑）

アキト…では減少値を（コロコロ……）

ヒリュウ…ぶっ、凄い数字出たぞ！?

アキト…全部で20減少だね。

ヘルマン…えーと〈殴〉だよな……うん、装甲引いてダメージ無しだ。（笑）

一同…（笑）

GM……（真顔）。

ヘルマン………久しぶりに言うけどよ、GM涙拭けよ。

GM…で、では描写をさせてもらおうか。

ユディット…描写するんだ。（笑）

GM…雑魚Dのハンマーからブースターが噴射し、中ボスの援護射撃がギガン

ト・ノヴァに襲いかかる……が、割り込んできたストライク・アルゴールのバリ

アがそれを遮る！

アキト…煙が晴れると無傷のギガント・ノヴァが。（笑）

メレク…凄い、メタガってこんな感じなんだね。

GM…くっそう……だ、だがまだ中ボスが動くぞ。チュボース・クライバーの全
武装が展開し《斉射》を使用する！ ヘルマン、アキト、ユディットが対象だ！

聖なるバリア

『相手がモンスターで攻撃した時、相手の攻撃表示モンスターを全て破壊する。発動後、このカードを破壊する。』

TCG 『遊☆戯☆王オフィシャルカードゲーム』に登場するカードの一種。

ヘルマン… ippそのこと雑魚Dも巻き込みませんか？

ユディット… オカマは部下を大事にするから！

中ボス(GM)… 「死イイねやゴルアアア！」(コロコロ……)

メレク… もう女性である部分を忘れてる……。 (笑)

GM… ああつ、低い！ ……えーと、12だね。

ヒリュウ… 《アブストラクション》使う、達成値に-2だ。

GM… !?

アキト… (コロコロ……) はい避けた。

ヘルマン… わ、ワンチャンある(コロコロ……) つ、先生ありがとう避けたぞ！

ユディット… (コロコロ……) あ、避けられました！

GM… ぐ……ではキミたちは降り注ぐ弾幕の雨を辛うじてかいくぐったね。

ヘルマン… 俺らが避けそこなつたのはレヴィアタン・F aのビームが撃ち落と

した感じだな。

GM… むうカツコ良い……では次、ヘルマンさんの行動です。煮るなり焼くなり

好きにするがいいよ！

アキト… やっちまいなさいよ！

ヘルマン… うん、じゃあ……さつきと同じコンボで行くか。(コロコロ……) 命

中は19！

GM..く、クリティカルなら、クリティカルなら（コロコロ……）駄目です。
ヘルマン..では引き続きユディットさんの援護射撃を受けつつブースターをフル稼働して突進！「言い残すことはあるか!？」

中ボス（GM）..「ひ、ヒイイ！」

ヘルマン..「アトミック——インパクトォ！」（コロコロ……）〈殴〉65です！

GM..ではその攻撃が相手の胸元を貫き、大穴を開ける！

メレク..こっただけ劇画調。

中ボス（GM）..「ぼ、ボスー、お許し下さいー！」ドクロマークの大爆発と共に

脱出ポッドが飛んで行くのが見えたね。雑魚Dも逃げたね。

ヒリュウ..あー、お約束ですねー。

GM..ということで戦闘終了です！ お疲れ様でしたー！

一同..お疲れ様でしたー！

ヘルマン..ごめん、ちよつと飲み物貰っていい？ ……必殺技の影響が、喉に。

ユディット..あ、はいコーラどうぞ。

——戦闘終了で一旦ブレイクタイム。

GM..因みにこれ、まだ加護使ってないからこれからもつとダイス増やせるよ。

アトミックインパクト

説明しよう！ 脚部のローラー走行による加速力を活かした拳打による一撃、それがアトミックインパクトである！
握力×体重×スピード＝破壊力！

演出をするなら必殺技名も自分で考えたりすると楽しい。

加護

1回のセッション中で一度しか使えない奥の手。
ダメージ超増加、超回復、絶対成功などトンでもない効果が多い。

ヘルマン：そうか、まだ《トール》を使っていないからこれに更に10D乗るのか。

GM：しかも《トール》を使うと攻撃の属性が〈神〉に変更されるから、装甲値がほとんど意味をなさないね。

ヘルマン：よし、30D目っ指すぞー！

メレク：（久海の用意した機体モデルをいじりながら）これ終わった後に記念撮影しよう！

GM：いやあよかった、思いのほかみんな気に入ってもらえたみたいで。

メレク：形があるってのはいいね。

ヘルマン：空いた時間に**ブンドド**してるのが楽しい。

——ブレイクタイム終了。

GM：戦闘が終了した瞬間、フェンリル・αのインベイドシステムが強制解除される。ストライク・アルゴールからドロつとしたものが落ち、それが再びフェンリル・αの形になっていくね。

アキト：キモいよー。

ヘルマン：帰ってほしいよー。

ヒリュウ：保護者ー！。

ブンドド

「ブーン！ドドドドドド！」の略。プラモや玩具を手で持つて飛ばしたり戦わせたりするあれ。
男の子なら誰もが一度はやると思ってる。

保護者ー

『寿司くん』で検索。

メレク…保護者あんだだろ。

ヒリユウ…はい、すいません。

GM…キミたちの機体は今、夕暮れの演習場に並んで佇んでいる感じだね。それを眺めながら後藤田司令が口を開く。

後藤田 (GM)…「ふう、どうにかなったかあ」

モニカ (GM)…「大勢の人たちがいる中での襲撃、複数のリンケージの覚醒、そこにたまたまガーディアンがあった…何だか、できすぎていませんか？」

アキト…確かに……。

後藤田 (GM)…「まあ、そういうこともあるさ」

GM…と、そこにオペレーターから通信が入るね。

オペレーター (GM)…「後藤田司令、リンケージ反応なんです…出撃した人達とは別にもう一つ反応があるようです」

ユディット…あー、やっぱりかー。

ヒリユウ…う、うーん、いやあ？

ユディット…違いますかね？

アキト…ううーん……。(全員、GMの出した的場のイラストを見ながら)

ヘルマン…だって、このままだと加護使えないでしょう？

ユディット…あ、そ、そういうこと？ 乗るの？ 彼が？

ヘルマン：そういうことじゃない？

ユディット：……今の出撃って『一回目』に数えられるんですかね？

一同：……。

後藤田(GM)：「そうか……じゃあその人も含めて、一旦集まってもらっていいかな？」

GM：ということで、シーンが切り替わります。

▼ シーン 12 『犯行予告』

GM：では、先程の襲撃から数時間後。キミたちは改めて後藤田司令の執務室に集められた。

ユディット：私達全員ですか？

GM：うん、呼び出されたのはキミたちに加え、的場・カズユキもだね。

ユディット：やっぱりかー。

メレク：「マジかよー的場かよー」

ユディット：的場かよって、女子高生の反応。(笑)

数えられるんですかね

今後の展開を考えるともう既に何も言えなくなってるPL
一同の凶。

後藤田 (GM)：「わかつてる方もいらつしやるとは思いますが、ここにいる方々はリンクページとしての素質が確認されました」

的場 (GM)：「え、えつと、僕もなんですか？」

後藤田 (GM)：「そうみたいなんだよね、どうやら月光・改のガンナーとしての素質があるみたいなんだよ」

ユディット：……。

GM：後藤田さんはまずさつき襲ってきた敵について説明しますね。組織名は『ブラック・クライシス団』、ガーディアンを用いたギャングみたいなものらしいね。
ユディット：略してブラックラ団。

ヘルマン：ブラウザクラッシュ団……。

GM：そして今から1時間ほど前、フォーチュンと防衛軍宛にこんな動画が届いた。後藤田さんが執務室のモニターの電源を入れる。映しだされたのは黒いゴシツクドレスに身を包んだ少女だった。

アキト：さつきのロリババアか。

ヘルマン：ババアか。

ワルモンヌ (GM)：「妾がブラック・クライシス団首領、ワルモンヌ・ワルシュタインじゃ！」

ユディット：凄いお名前だなあ！

ブラウザクラッシュ

増え続けるウインドウ、閉じても閉じても湧いて出るウインドウ、メール作成画面……。昔、ネット上にはそんなトラブルが転がっていた。

ワルモンヌ (GM)：「今日は妾の部下たちを随分と可愛がつてくれたようじゃのう。しかし貴様らのガーディアン、非常に興味がある。よって3日後、再び貴様らのガーディアンを貰い受けにまいろう。逃げれば街がどうなるか、わかつておろうな？ カーツカツカツカツ！」

GM：と言つて、映像はプツリと切れる。

メレク：……ブラクラ団つて、世間的にはどういう立ち位置の組織なの？

ユディット：完全にブラクラ団になった。(笑)

GM：ガーディアンを用いた強盗などを行う世界征服を目的にした『悪の組織』みたいなものだね。

ヘルマン：ポケモンで言うところのロケット団でしょ？

GM：うん、それに近いかもしれない。(笑)

後藤田 (GM)：「で、だ……言われた通り、3日後にやつこさんたち来ちゃうみたいなんだよね。それで単刀直入に言うつと、みなさんに協力していただくわけにはいかないかな？ **鳳市の本部**にも協力要請はしてるんだけど……あつちはあつちで忙しいみたいでね……」

GM：と言うことで、今すぐに決めろとは言わないけど3日後までにガーディアンに乗つて戦つてくれるかどうかを決めてほしいとのことです。



◀ **ワルモンヌ・ワルシュタイン**

鳳市の本部

フォーチュンの本部はイヅモの大都市、鳳（おおとり）市に存在している。

ヘルマン…防衛軍の機体じゃ相手にならなかったし、ガーディアンに乗れるのは俺たちだけなんだよな？

GM…うん、ガーディアンには決まったりリンケージしか搭乗することはできないからね、今相手の戦力とまともに戦えるのはキミたちだけだ。

メレク…なるほど。

GM…と言うことで今日は解散、このままイベントフェイズに入ります。

ヘルマン…あ、【HP】とか【FP】は回復してもいいの？

GM…うん、07技術試験隊の整備班が頑張ってくれていますので、3日後までには回復するでしょう。今回はブレイク状態も回復していいよ、チュートリアルみたいなもんだし。

メレク…やったー！

それは、“先駆者”たちの物語——



全国のとらのあなにて好評取り扱い中！

◆第一巻通販ページ

[http://www.toranoana.jp/mailorder/
article/04/0030/44/86/040030448678.html?
n=recommend](http://www.toranoana.jp/mailorder/article/04/0030/44/86/040030448678.html?n=recommend)

◆第二巻通販ページ

[http://www.toranoana.jp/mailorder/
article/04/0030/44/86/040030448678.html?
n=recommend](http://www.toranoana.jp/mailorder/article/04/0030/44/86/040030448678.html?n=recommend)

第三巻、2017年冬展開予定